

# 2017年卒学生 就職活動状況 中間まとめ

## — 2016年 3月度～7月度 就職プロセス調査より —

就職みらい研究所では、2017年卒の就職を意向する学生を対象に「就職プロセス調査」を実施しております。本資料では、3月度(3月1日時点)～7月度(7月1日時点)の調査結果の一部を抜粋し中間まとめとしてご報告いたします。

### コンテンツ

調査概要	・・・ P2
採用・就職活動のスケジュール変更について	・・・ P3
調査結果トピックス	・・・ P4

### I 章 3月1日時点から7月1日時点の就職内定に関する状況

【1】 就職内定状況・就職活動実施率	・・・ P5
【2】 内定未取得者と内定取得者の就職活動実施率	・・・ P6
【3】 内定取得社数	・・・ P10
【4】 進路確定率	・・・ P11
【5】 内定を辞退したことのある学生の割合	・・・ P12
【6】 内定先企業への入社意向	・・・ P13
【7】 7月1日時点での就職確定先業種、従業員規模	・・・ P14
(参考)選考開始月15日時点の内定状況、内定先企業の業種、従業員規模、入社意向	
【8】 「内定取得かつ就職活動実施者」の特徴	・・・ P16

### II 章 2月から6月の就職活動や志望の状況

【1】 就職活動プロセス毎の実施状況	・・・ P18
【2】 「学業」「就職活動」「プライベート」に費やす時間の割合	・・・ P20
【3】 就職志望状況<志望業種>	・・・ P22
【4】 就職志望状況<志望従業員規模>	・・・ P24

### III 章 2月から6月の学生の心情

【1】 「就職活動」に対する気持ちの高まり度	・・・ P26
<学生コメント抜粋>	
【2】 「就職活動」に対する心情の天気模様(次月の見通し)	・・・ P28
<学生コメント抜粋>	

## 調査概要

- 調査目的 : 大学生・大学院生における就職活動の実態を把握する  
 調査方法 : インターネット調査  
 集計方法 : 大学生については、性別、専攻、所属大学の設置主体をもとに、実際の母集団の構成比に近づけるよう、文部科学省「学校基本調査」の数値を参照し、**ウェイトバック集計**を行っている  
 調査対象 : リクナビ2017会員の大学生および大学院生から、2016年1月20日～3月27日、2016年4月12日～4月25日、2016年5月20日～5月30日に調査モニターを募集し、モニターに登録した2017年3月卒業予定の男女9,399人(うち、大学生7,775人/大学院生1,624人) ※モニター登録数 7月1日現在  
 ※本資料は、**大学生のみのデータ** (P9の就職内定率のみ「大学院生(理系)」を参考値として掲載)  
 調査期間 : 下表①参照

【2017年卒】①

調査時期	調査期間	集計対象		
		大学生	大学院生	
2016年	3月	2016年 3月 16日～28日	1,185人	379人
	4月	2016年 4月 4日～11日	1,141人	374人
	5月	2016年 5月 2日～12日	1,225人	448人
	6月	2016年 6月 2日～13日	1,612人	675人
	*6月	2016年 6月 16日～20日	1,126人	440人
	7月	2016年 7月 1日～8日	2,030人	762人

\* 6月は臨時調査のため2度調査

2016年卒学生(リクナビ2016会員)、2015年卒学生(リクナビ2015会員)の調査期間・集計対象は、  
 下表②、③参照

【2016年卒】②

調査時期	調査期間	集計対象		
		大学生	大学院生	
2015年	3月	2015年 3月 13日～23日	1,650人	477人
	4月	2015年 4月 3日～10日	1,448人	444人
	5月	2015年 5月 1日～11日	1,075人	383人
	6月	2015年 6月 2日～8日	1,268人	438人
	7月	2015年 7月 2日～8日	1,181人	442人
	8月	2015年 8月 3日～10日	1,205人	441人
	*8月	2015年 8月 17日～19日	956人	394人
	9月	2015年 9月 2日～8日	1,173人	461人
	10月	2015年 10月 2日～7日	1,128人	452人
	11月	2015年 11月 2日～10日	1,134人	467人
	12月	2015年 12月 2日～8日	1,108人	454人
	2016年	2月	2016年 2月 2日～9日	1,001人
*3月		2016年 3月 16日～24日	945人	374人

\* 8月は臨時調査のため2度調査

\* 3月卒業時点

【2015年卒】③

調査時期	調査期間	集計対象			
		大学生	大学院生		
2014年	3月	2014年 3月 2日～10日	2,521人	776人	
	4月	2014年 4月 2日～9日	2,101人	691人	
	5月	2014年 5月 2日～12日	1,884人	659人	
	6月	2014年 6月 2日～10日	1,612人	617人	
	7月	2014年 7月 2日～10日	1,500人	585人	
	8月	2014年 8月 2日～11日	1,423人	570人	
	9月	2014年 9月 10日～19日	1,196人	522人	
	10月	2014年 10月 2日～10日	1,338人	533人	
	12月	2014年 12月 2日～9日	1,274人	543人	
	2015年	2月	2015年 2月 2日～10日	1,265人	529人
		*3月	2015年 3月 16日～25日	1,272人	515人

\* 3月卒業時点

## 調査概要

### 《用語の定義》

- 就職意向者 = 当初(本調査モニター募集時)の志望進路が、「就職」および「未決定」者
- 就職志望者 = 当月、就職を志望している者
- 就職活動実施者 = 当月、就職活動を実施している者
- 就職内定取得者 = 当月までに内定(内々定)の取得経験のある者
- 就職内定未取得者 = 当月までに内定(内々定)の取得経験がない者
- 就職内定辞退者 = 当月までに内定(内々定)の辞退経験がある者
- 進路確定者 = 当月、進路が確定している者

### 《各率の算出方法》

- 就職志望率 = 就職志望者数 ÷ 就職意向者数
- 就職活動実施率 = 就職活動実施者数 ÷ 就職志望者数
- 就職内定率 = 就職内定取得者数 ÷ 就職志望者数
- 就職内定辞退率 = 就職内定辞退者数 ÷ 就職内定取得者数
- 進路確定率 = 進路確定者数 ÷ 就職意向者数

### 《調査結果を見る際の注意点》

- %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計値や差の数値と計算値が一致しない場合がある。

### 《その他》

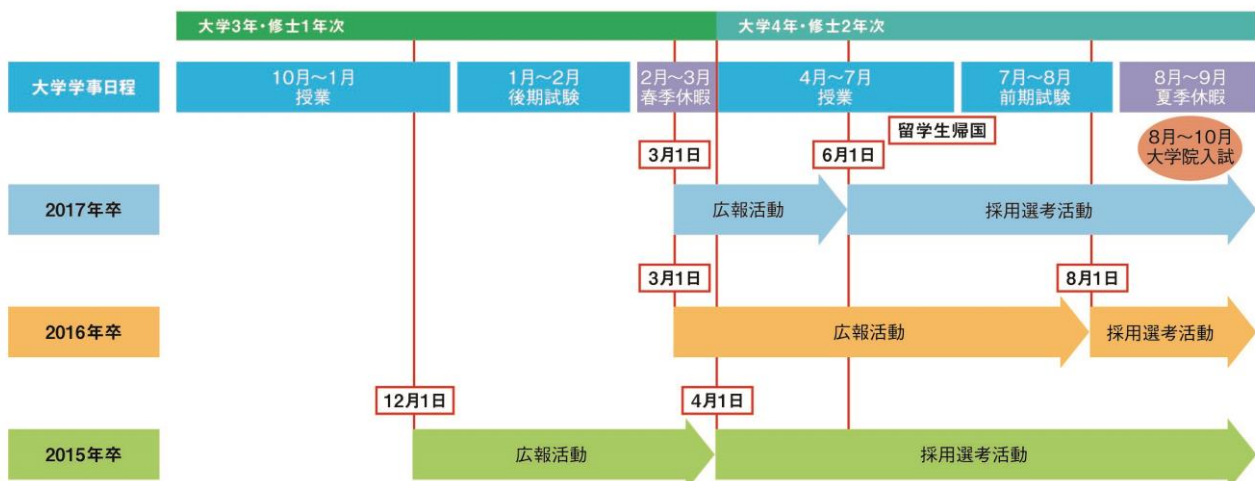
- 2015年卒業予定、2016年卒業予定、2017年卒業予定を、それぞれ「2015年卒」「2016年卒」「2017年卒」と表記。
- グラフおよび表組の「各月1日」は「各月1日時点」の時点を省略。

## 採用・就職活動のスケジュール変更について

日本の採用・就職活動は、日本経済団体連合会(経団連)の定めた「採用選考に関する企業の倫理憲章(倫理憲章)」が一つの目安となり行われている。2013年9月、経団連は、政府の閣議決定「日本再興戦略(※)」を受け、「採用選考に関する指針」を発表。2016年卒学生採用の広報活動、採用選考活動の開始時期を、2015年卒学生採用からそれぞれ3カ月、4カ月繰り下げた。しかし、2015年卒学生と同様のスケジュールで選考を行った企業もあり、結果として内定辞退の増加、採用・就職活動の長期化など、企業・学生ともに混乱が生じた。そのため、企業、大学、政府での協議を踏まえ、2017年卒学生向けの「採用に関する指針」では、選考開始時期が2カ月繰り上げられ6月と発表された。2015年卒学生、2016年卒学生2017年卒学生の3年連続での、採用・就職活動スケジュールの変更は以下の変遷となっている。

(※)2013年6月決定。学修時間の確保、留学等の促進を目的とし、就職・採用活動の開始時期変更に言及。

### ■採用・就職活動のスケジュール変更



広報活動：企業や就職情報サイトでの「採用情報の提供」「プレエントリー受付」や、会社説明会など採用を目的とした活動を指す  
採用選考活動：面接などの、一定の基準に照らし学生を選抜することを目的とした活動を指す

## 調査結果 トピックス

### 就職内定率に関する状況 (P5~P9)

#### 【全体の傾向】

- 2017年卒学生では、5月1日時点から6月15日時点の間の1カ月半で40.8ポイント上昇し、6月15日時点では65.8%、7月1日時点では71.1%であった。2016年卒学生の内定率が5月1日時点から選考開始日にあたる8月1日時点の3カ月かけて45ポイント弱上昇したことと比較すると、短期間で内定取得が集中したと言える。

#### 【属性別の傾向】

##### <文系・理系別>

- 2017年卒学生では、4月1日時点から7月1日時点にかけては、理系の方が文系よりも高い状態が続いた。
- 2016年卒学生では、選考開始月である8月1日、15日時点を除き、文系・理系間の差が5ポイント未満で推移した。
- 2015年卒学生では、5月1日時点から10月1日時点までの間、理系の方が5ポイント以上高い状態が続いた。

##### <男性・女性別>

- 2017年卒学生では、選考開始日である6月1日時点では男性の方が高いが、そのほかの月では同水準となっている。
- 2016年卒学生では、6月1日時点までは男性の方が高かったが、7月1日時点でほぼ同水準となった。
- 2015年卒学生では、男性・女性別では、全ての月において男性の方がやや高かった。

##### <地域別>

- 2017年卒学生では、選考開始日である6月1日時点までは関東が他地域と比べて顕著に高かったが、7月1日時点ではその差は縮小した。
- 2016年卒学生では、関東が他の地域よりも高い傾向にあり、選考開始の翌月にあたる9月1日時点においても、他のどの地域よりも5ポイント以上高かった。
- 2015年卒学生では、4月1日時点までは関東が他地域より高かったが、5月1日時点以降は地域差が縮小した。

##### <大学院生(理系)・大学生(理系)>

- 2017年卒学生では、選考開始日である6月1日時点以降、大学院生(理系)の方が高い水準で推移している。
- 2016年卒学生では、8月1日時点以降、大学院生(理系)の方が高い水準で推移した。
- 2015年卒学生では、どの月においても大学院生(理系)の方が高い水準で推移した。

### 選考開始月15日時点での内定取得者の状況 (P15)

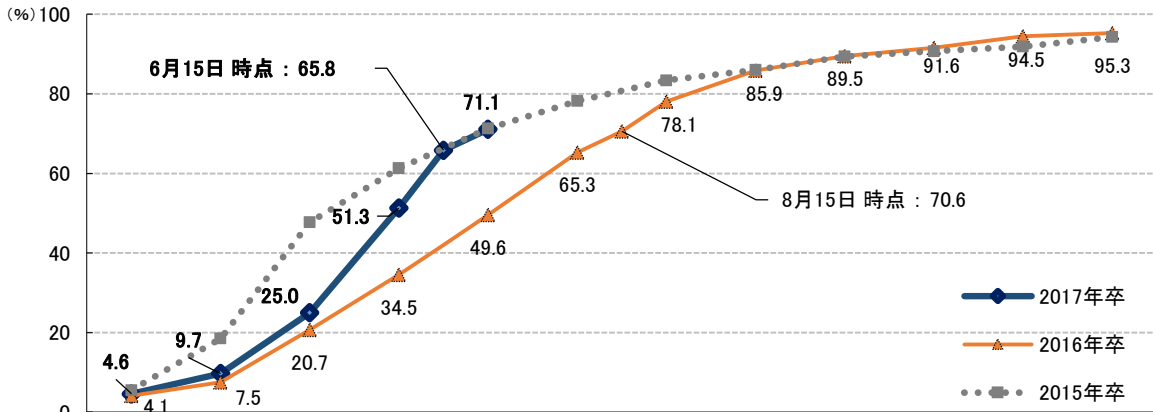
- 選考開始日から15日間に内定取得した割合は、2017年卒学生は54.7%と、2016年卒学生の44.4%から10.3ポイント増加した。
- 内定取得先企業の従業員規模は、2017年卒学生では、「1000~4999人」が36.1%と最も高い割合だった。2016年卒学生では、従業員規模が大きくなるほど高い割合になり、最も高い割合は「5000人以上」の40.2%だった。
- 内定取得先企業への入社意向は、2017年卒学生では「入社したい／入社したい企業がある」が59.2%と、2016年卒学生の64.8%から5.6ポイント減少した。

# 1章 3月1日時点から7月1日時点の就職内定に関する状況

## 【1】就職内定状況・就職活動実施率

- 2017年卒学生の就職内定率は5月1日時点から6月15日時点の間に40.8ポイント上昇し、6月15日時点では65.8%であった。その後も上昇し、7月1日時点では71.1%であった。
- 2016年卒学生では4月1日時点から9月1日時点の間、毎月12~16ポイント程度上昇し、7月1日時点では49.6%、9月1日時点で78.1%であった。

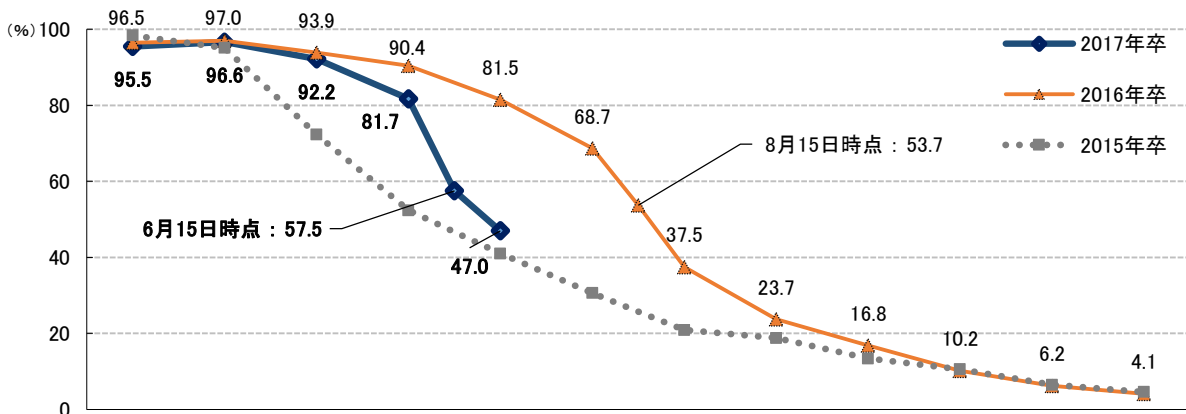
### ■ 就職志望者における就職内定率の推移（就職志望者/単一回答）



	3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	11月1日	12月1日	2月1日	3月卒業
全体												
2017年卒	4.6%	9.7%	25.0%	51.3%	71.1%							
2016年卒	4.1%	7.5%	20.7%	34.5%	49.6%	65.3%	78.1%	85.9%	89.5%	91.6%	94.5%	95.3%
2015年卒	5.5%	18.5%	47.7%	61.3%	71.3%	78.2%	83.4%	86.0%	89.4%	90.7%	91.9%	94.3%
前回差		5.1	15.3	26.3	19.8							
前年同月差	0.5	2.2	4.3	16.8	21.5							

- 2017年卒学生の就職活動実施率は5月1日時点まで9割以上で推移した。その後、選考開始日である6月1日時点から、6月15日時点にかけて24.2ポイント低下し、57.5%となった。7月1日時点では47.0%となった。
- 2016年卒学生では6月1日時点まで9割以上で推移した。その後、選考開始日である8月1日時点にかけて徐々に低下し、9月1日時点で37.5%（前月比-31.2ポイント）となった。

### ■ 就職志望者における就職活動実施率の推移（就職志望者/単一回答）



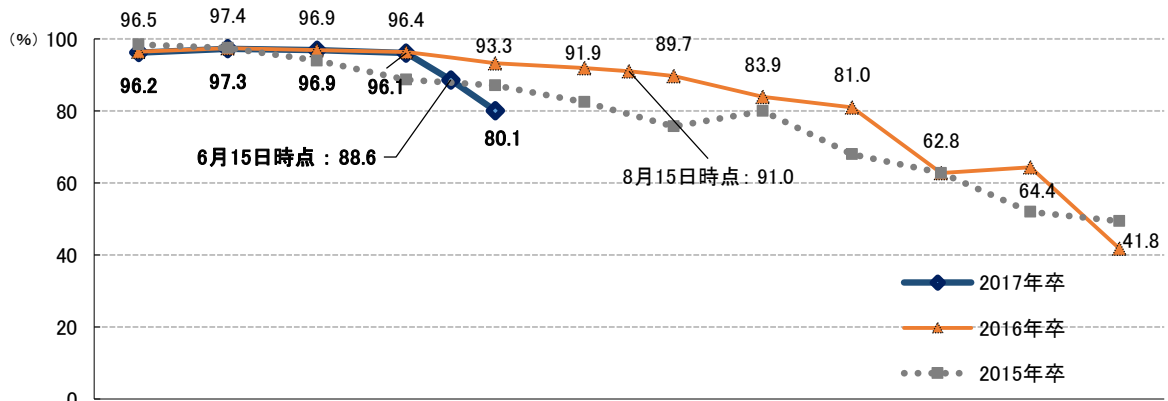
	3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	11月1日	12月1日	2月1日	3月卒業
全体												
2017年卒	95.5%	96.6%	92.2%	81.7%	47.0%							
2016年卒	96.5%	97.0%	93.9%	90.4%	81.5%	68.7%	37.5%	23.7%	16.8%	10.2%	6.2%	4.1%
2015年卒	98.4%	95.1%	72.3%	52.4%	41.0%	30.6%	20.9%	18.8%	13.4%	10.6%	6.5%	4.6%
前回差		1.1	-4.4	-10.5	-34.7							
前年同月差	-1.0	-0.4	-1.7	-8.7	-34.5							



【2】内定未取得者と内定取得者の就職活動実施率

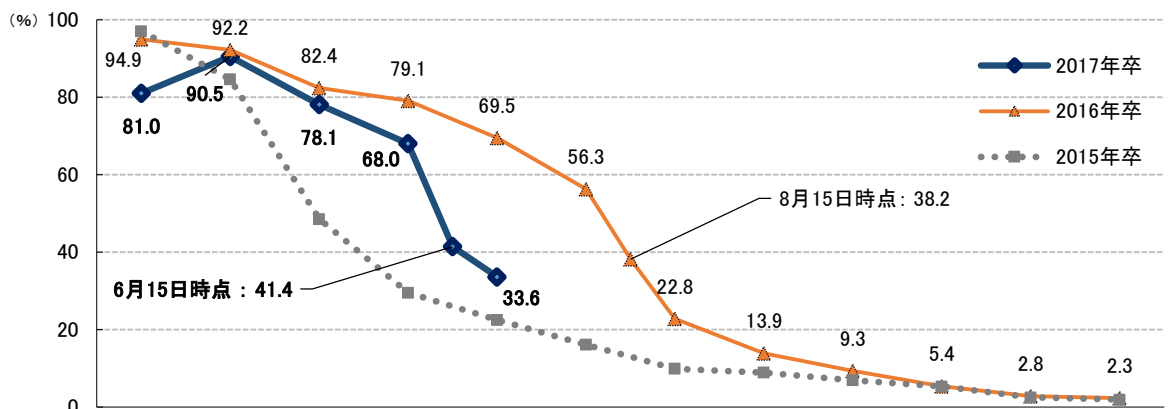
- 2017年卒学生の「内定未取得者」の就職活動実施率は、選考開始日である6月1日時点まで9割以上で推移したが、6月15日時点より低下し、7月1日時点では80.1%となった。7月1日時点での就職活動実施率は前年同月と比べて13.2ポイント低かった。
- 「内定取得者」の就職活動実施率を見ると、2017年卒学生の選考開始日以降の活動率の低下は2016年卒学生と比べて顕著で、6月1日時点から7月1日時点にかけて34.4ポイント低下し、33.6%となった。

■ 内定未取得者における就職活動実施率の推移（就職志望者・内定未取得者/単一回答）



		3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	11月1日	12月1日	2月1日	3月卒業
全体	2017年卒	96.2%	97.3%	96.9%	96.1%	80.1%							
	2016年卒	96.5%	97.4%	96.9%	96.4%	93.3%	91.9%	89.7%	83.9%	81.0%	62.8%	64.4%	41.8%
	2015年卒	98.5%	97.5%	94.0%	88.7%	87.1%	82.5%	75.7%	80.0%	68.0%	62.8%	52.0%	49.4%
	前回差		1.1	-0.4	-0.8	-16.0							
	前年同月差	-0.3	-0.1	0.0	-0.3	-13.2							

■ 内定取得者における就職活動実施率の推移（就職志望者・内定取得者/単一回答）

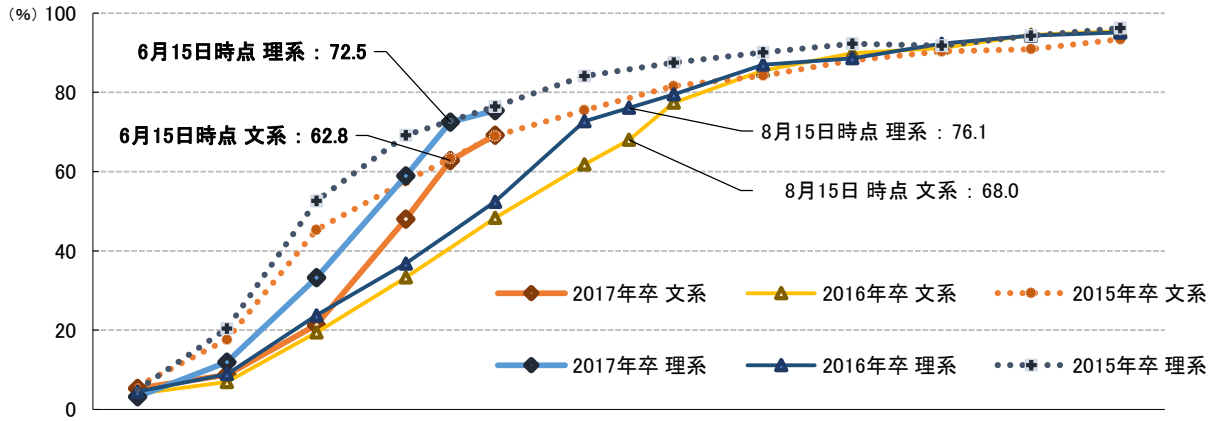


		3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	11月1日	12月1日	2月1日	3月卒業
全体	2017年卒	81.0%	90.5%	78.1%	68.0%	33.6%							
	2016年卒	94.9%	92.2%	82.4%	79.1%	69.5%	56.3%	22.8%	13.9%	9.3%	5.4%	2.8%	2.3%
	2015年卒	97.0%	84.6%	48.5%	29.5%	22.5%	16.1%	9.9%	8.9%	6.9%	5.3%	2.5%	1.9%
	前回差		9.5	-12.4	-10.1	-34.4							
	前年同月差	-13.9	-1.7	-4.3	-11.1	-35.9							

◀属性別データ▶ ■ 就職志望者における内定率の推移 属性別 (就職志望者/単一回答)

□ 文系・理系別

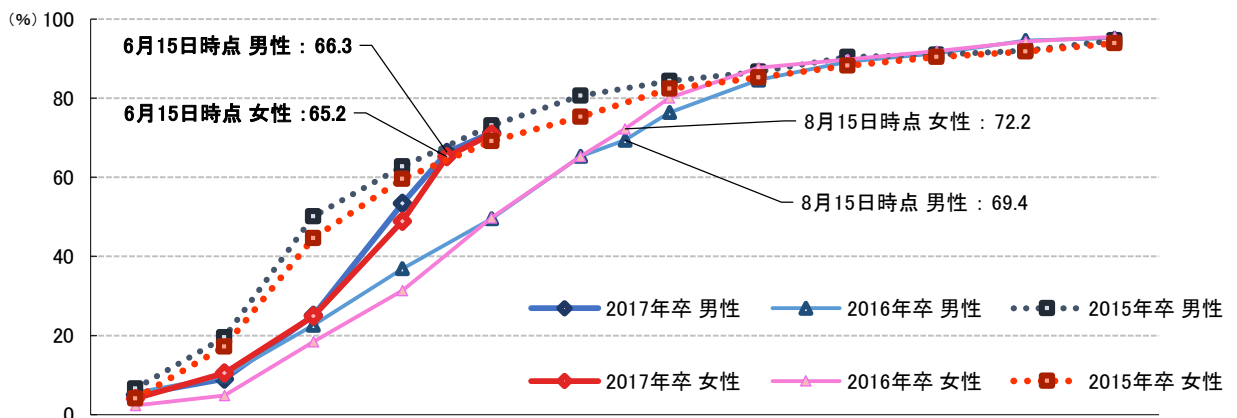
● 2017年卒学生は、4月1日時点までの間、文系・理系の差が小さかったが、5月1日時点で文系21.3%、理系33.2%と10ポイント以上の差がついた。その後も10ポイント程度の差を保ったまま6月15日時点まで上昇を続けた。選考開始翌月の7月1日時点では差が少し縮まり、文系69.2%、理系75.4%となった。



		3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	11月1日	12月1日	2月1日	3月卒業
文系	2017年卒	5.3%	8.7%	21.3%	48.0%	69.2%							
	2016年卒	3.9%	6.9%	19.4%	33.3%	48.3%	61.8%	77.4%	85.5%	89.9%	91.2%	94.5%	95.5%
	2015年卒	5.8%	17.6%	45.3%	57.6%	69.0%	75.5%	81.6%	84.2%	88.1%	90.3%	90.9%	93.4%
理系	2017年卒	3.2%	11.9%	33.2%	58.9%	75.4%							
	2016年卒	4.5%	8.9%	23.7%	36.8%	52.4%	72.7%	79.5%	87.0%	88.6%	92.3%	94.3%	95.1%
	2015年卒	4.9%	20.4%	52.6%	69.2%	76.4%	84.1%	87.5%	90.1%	92.3%	91.8%	94.3%	96.2%

□ 男性・女性別

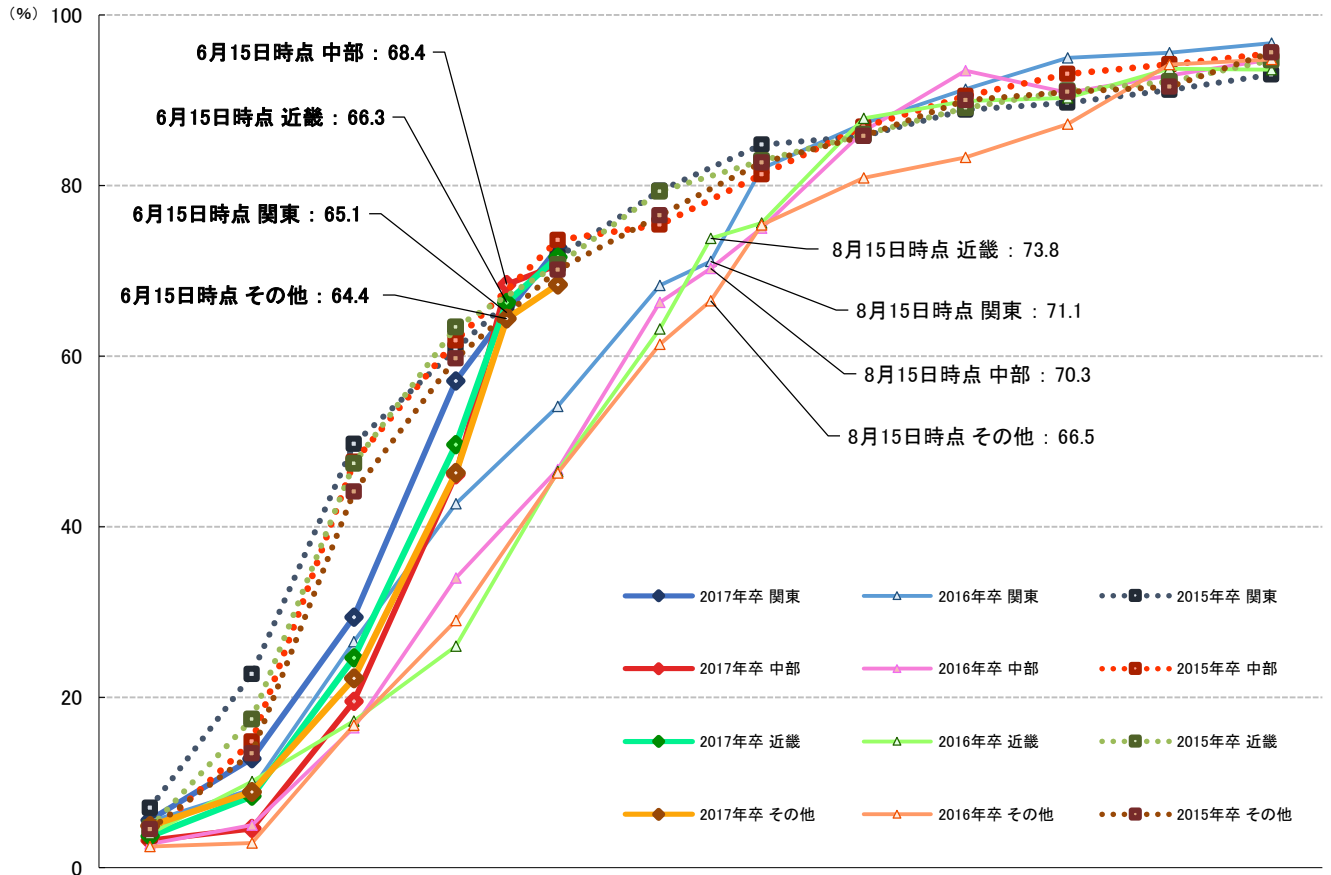
● 2017年卒学生は、5月1日時点まで同水準であったが、選考開始日である6月1日時点以降、男性の内定率の方が高くなり、7月1日時点では再び同水準となった。



		3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	11月1日	12月1日	2月1日	3月卒業
男性	2017年卒	5.0%	9.0%	25.1%	53.4%	71.3%							
	2016年卒	5.6%	9.7%	22.6%	36.9%	49.5%	65.3%	76.4%	84.6%	89.2%	91.3%	94.6%	95.2%
	2015年卒	6.6%	19.5%	50.1%	62.7%	73.1%	80.6%	84.3%	86.7%	90.4%	91.0%	92.0%	94.6%
女性	2017年卒	4.1%	10.5%	24.9%	48.9%	70.9%							
	2016年卒	2.3%	4.8%	18.4%	31.4%	49.7%	65.3%	80.1%	87.7%	89.8%	91.9%	94.3%	95.5%
	2015年卒	4.1%	17.2%	44.6%	59.6%	69.1%	75.3%	82.4%	85.2%	88.2%	90.4%	91.8%	93.9%

□ 地域別

- 2017年卒学生では、4月1日時点から6月1日時点までは関東のみが他の地域と比べて高い水準で推移していたが、7月1日時点ではどの地域間でも5ポイント未満の差に縮小した。
- 関東の内定率が関東以外の地域よりも高い水準で推移する傾向は、2016年卒、2015年卒でも見られたが、差の大きい期間の長さは、2016年卒が最も長く、次いで2017年卒、2015年卒の順となっており、差そのものの大きさでも、2016年卒が最も大きく、次いで2017年卒、2015年卒の順であった。差が最も大きかった月を比較すると、2017年卒では6月1日時点、2016年卒では5月1日時点、2015年卒では4月1日時点であった。



		3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	11月1日	12月1日	2月1日	3月卒業
関東	2017年卒	5.6%	12.8%	29.4%	57.1%	72.7%							
	2016年卒	5.4%	9.2%	26.5%	42.7%	54.1%	68.3%	82.0%	87.3%	91.3%	95.0%	95.6%	96.7%
	2015年卒	7.0%	22.7%	49.7%	60.8%	71.6%	79.4%	84.8%	85.8%	88.9%	89.7%	91.2%	93.0%
中部	2017年卒	3.2%	4.6%	19.5%	46.1%	70.7%							
	2016年卒	2.8%	5.0%	16.4%	34.0%	46.7%	66.3%	75.0%	86.4%	93.5%	90.9%	92.9%	94.8%
	2015年卒	3.7%	14.8%	47.6%	61.8%	73.6%	75.4%	81.3%	86.9%	90.5%	93.1%	94.2%	95.5%
近畿	2017年卒	3.7%	8.4%	24.6%	49.6%	71.6%							
	2016年卒	4.0%	10.1%	17.2%	26.0%	46.5%	63.2%	75.6%	87.9%	89.9%	90.3%	93.7%	93.6%
	2015年卒	4.7%	17.4%	47.4%	63.4%	70.7%	79.3%	82.9%	86.0%	89.1%	91.1%	92.2%	94.7%
地域の計他	2017年卒	4.9%	8.9%	22.2%	46.3%	68.4%							
	2016年卒	2.5%	2.9%	16.7%	29.0%	46.3%	61.4%	75.4%	80.9%	83.3%	87.2%	94.2%	94.8%
	2015年卒	4.5%	13.4%	44.1%	59.7%	70.1%	76.5%	82.7%	85.8%	90.0%	91.0%	91.6%	95.6%

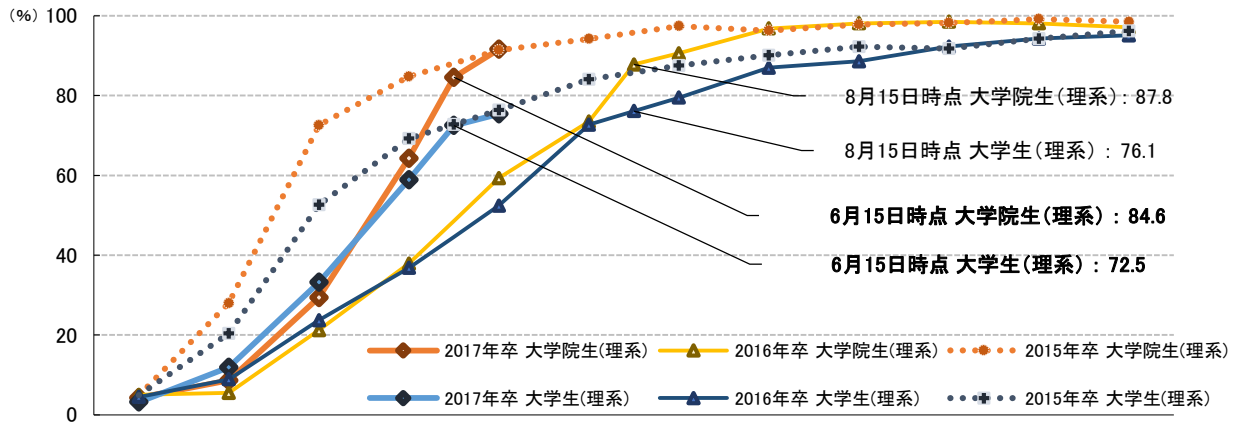
※「その他」は「その他地域」



[ 参考値 ]

□ 大学院生(理系)

- 2017年卒の大学院生(理系)の内定率は、4月1日時点から5月1日時点までは大学生(理系)よりも低い水準で推移したが、6月1日時点で大きく上昇し、7月1日時点では大学生(理系)より16.2ポイント高い91.6%となった。

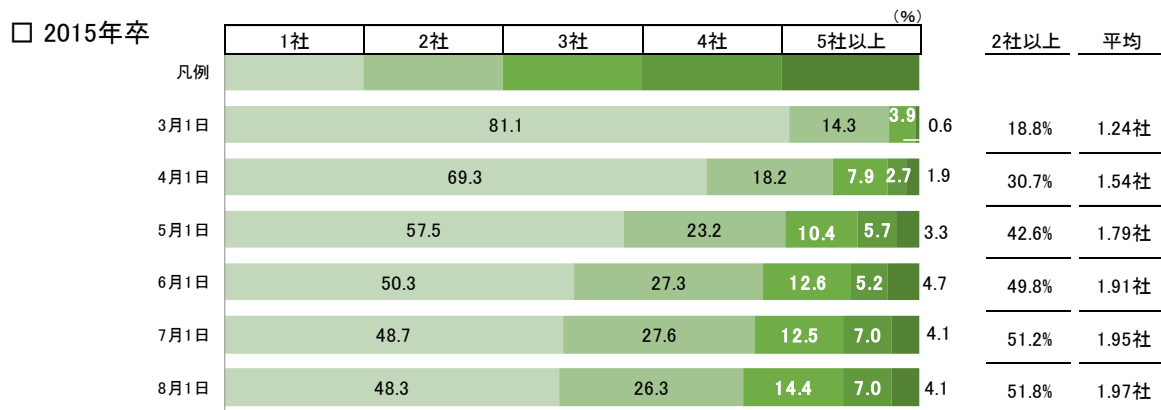
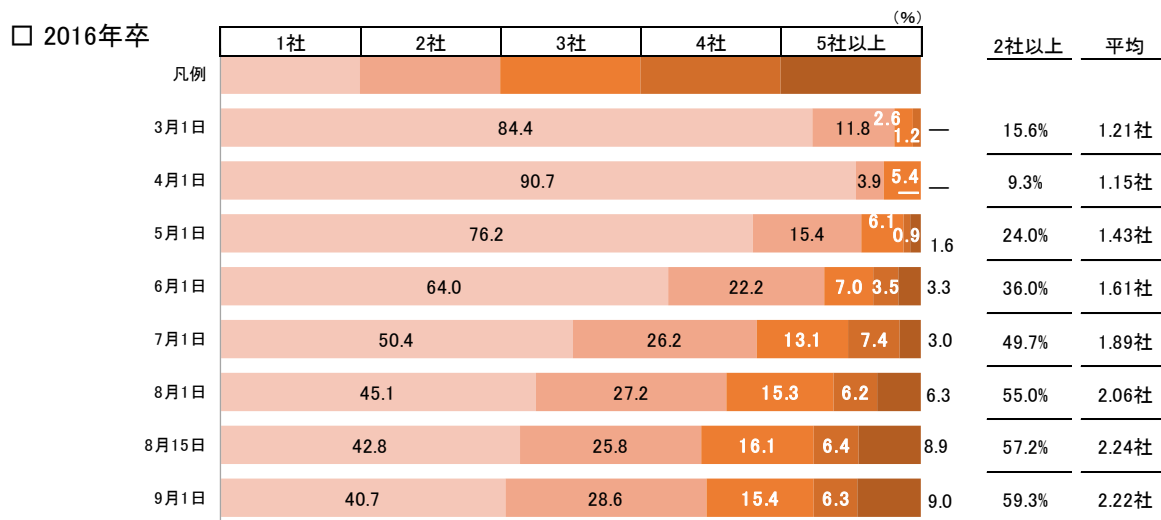
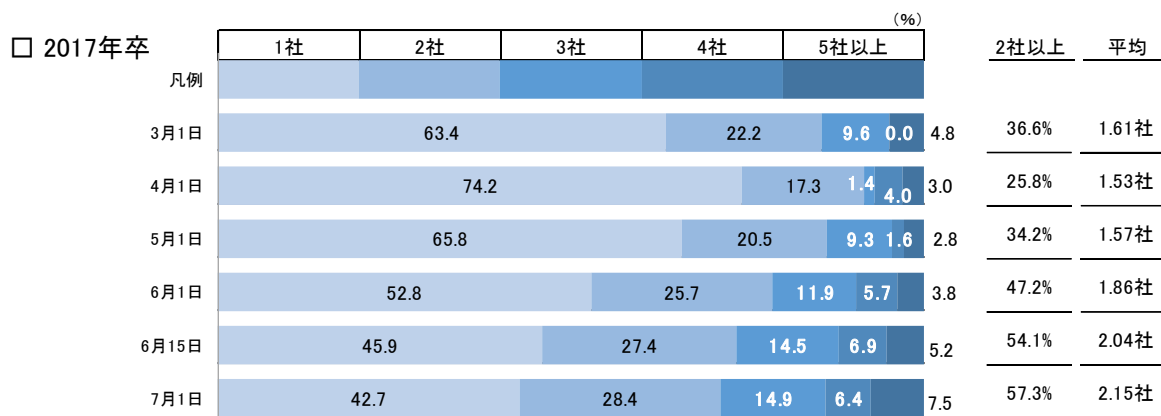


		3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	11月1日	12月1日	2月1日	3月卒業
大 学 院 生 ( 理 系 )	2017年卒	4.3%	8.6%	29.4%	64.3%	91.6%							
	2016年卒	5.0%	5.5%	21.2%	37.9%	59.3%	73.5%	90.6%	96.8%	98.1%	98.5%	98.1%	97.1%
	2015年卒	4.8%	28.0%	72.6%	84.8%	91.4%	94.2%	97.4%	96.3%	97.8%	98.2%	99.2%	98.5%
大 学 生 ( 理 系 再 掲 )	2017年卒	3.2%	11.9%	33.2%	58.9%	75.4%							
	2016年卒	4.5%	8.9%	23.7%	36.8%	52.4%	72.7%	79.5%	87.0%	88.6%	92.3%	94.3%	95.1%
	2015年卒	4.9%	20.4%	52.6%	69.2%	76.4%	84.1%	87.5%	90.1%	92.3%	91.8%	94.3%	96.2%

【3】内定取得社数

- 2017年卒学生の内定取得社数の平均値は、4月1日時点以降徐々に増加し7月1日時点で2.15社となった。複数社の内定を取得している学生の割合は、6月15日時点で5割を超え、7月1日時点では57.3%であった。
- 2016年卒学生では、4月1日時点以降、内定取得社数が増加し、選考開始日である8月1日時点で2.06社となった。複数社の内定を取得している学生の割合は、選考開始日の1カ月前である7月1日時点で5割程度まで上昇した。

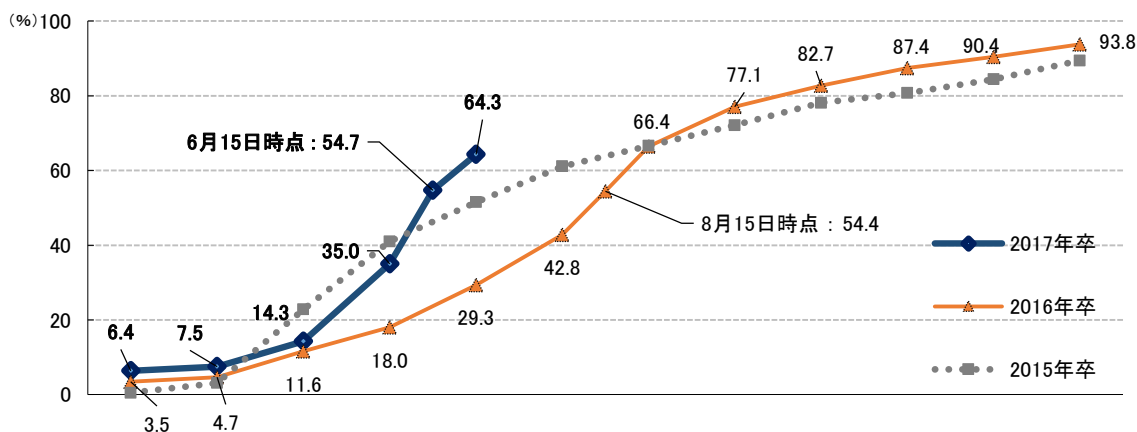
■ 内定取得社数の推移\_内訳(就職志望者・内定取得者/実数回答)



【4】進路確定率

- 2017年卒学生の進路確定率は、5月1日時点までは緩やかに上昇したが、選考開始日である6月1日時点では前月より20.7ポイント高い35.0%となり、さらに7月1日時点では前月より29.3ポイント高い64.3%となった。
- 2016年卒学生は、選考開始日である8月1日時点までは2017年卒学生と比べて緩やかに上昇したが、その後1カ月で23.6ポイント上昇し、9月1日時点では66.4%となった。

■ 進路確定率

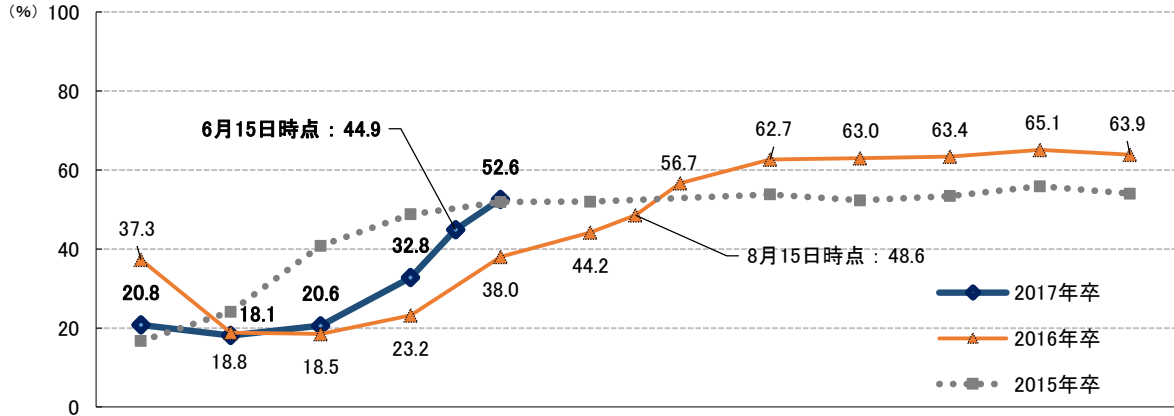


		3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	11月1日	12月1日	2月1日	3月卒業
全体	2017年卒	6.4%	7.5%	14.3%	35.0%	64.3%							
	2016年卒	3.5%	4.7%	11.6%	18.0%	29.3%	42.8%	66.4%	77.1%	82.7%	87.4%	90.4%	93.8%
	2015年卒	0.5%	3.1%	22.8%	41.0%	51.5%	61.1%	72.1%	78.1%	80.7%	84.4%	89.4%	
	前回差		1.1	6.8	20.7	29.3							
	前年同月差	2.9	2.8	2.7	17.0	35.0							

【5】内定を辞退したことのある学生の割合

- 2017年卒学生の「内定を辞退したことのある学生の割合」は、4月1日時点から5月1日時点までは2割前後で推移した。その後上昇し、選考開始日である6月1日時点で32.8%、7月1日時点では52.6%となっている。
- 2016年卒学生は、6月1日時点から10月1日時点の間で徐々に増加し、その後6割以上で推移した。

■ 内定を辞退したことのある学生の割合（就職志望者・内定取得者／単一回答）



		3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	7月1日	8月1日	9月1日	10月1日	11月1日	12月1日	2月1日	3月卒業
全体	2017年卒	20.8%	18.1%	20.6%	32.8%	52.6%							
	2016年卒	37.3%	18.8%	18.5%	23.2%	38.0%	44.2%	56.7%	62.7%	63.0%	63.4%	65.1%	63.9%
	2015年卒	16.7%	24.1%	40.8%	48.8%	51.9%	52.0%		53.8%	52.3%	53.4%	55.9%	54.0%
	前回差		-2.7	2.5	12.2	19.8							
	前年同月差	-16.5	-0.7	2.1	9.6	14.6							

■ 平均内定辞退社数（就職志望者・内定辞退者／実数回答）

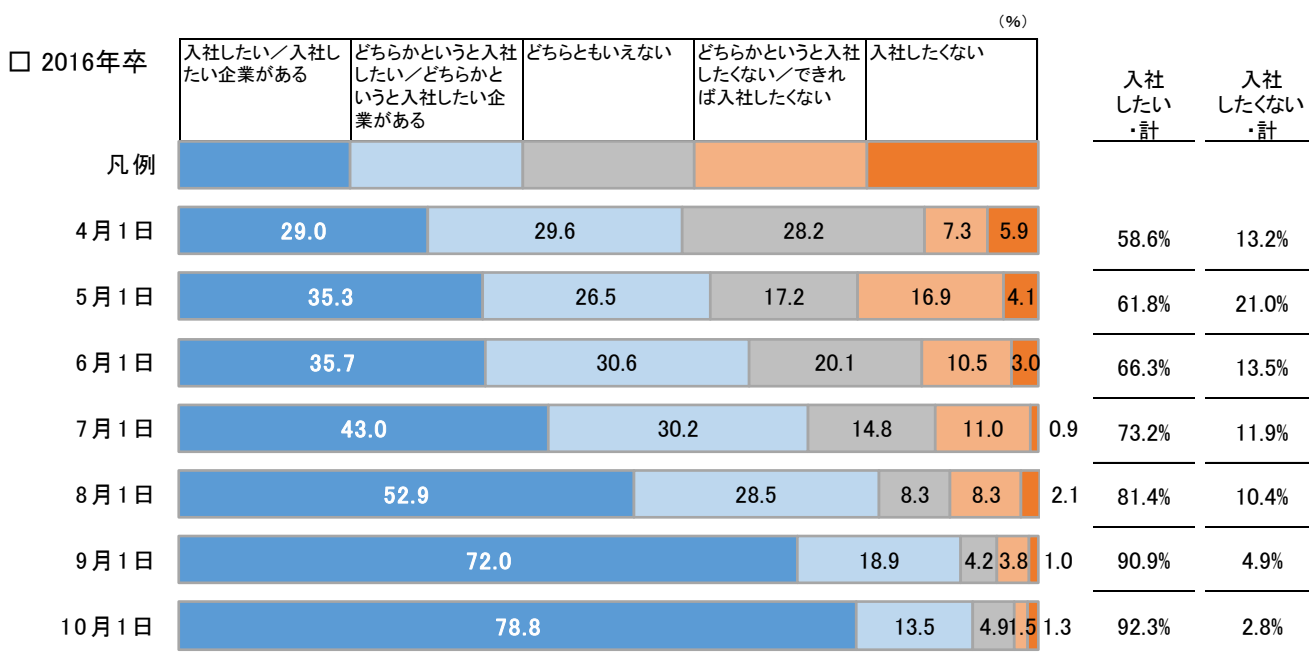
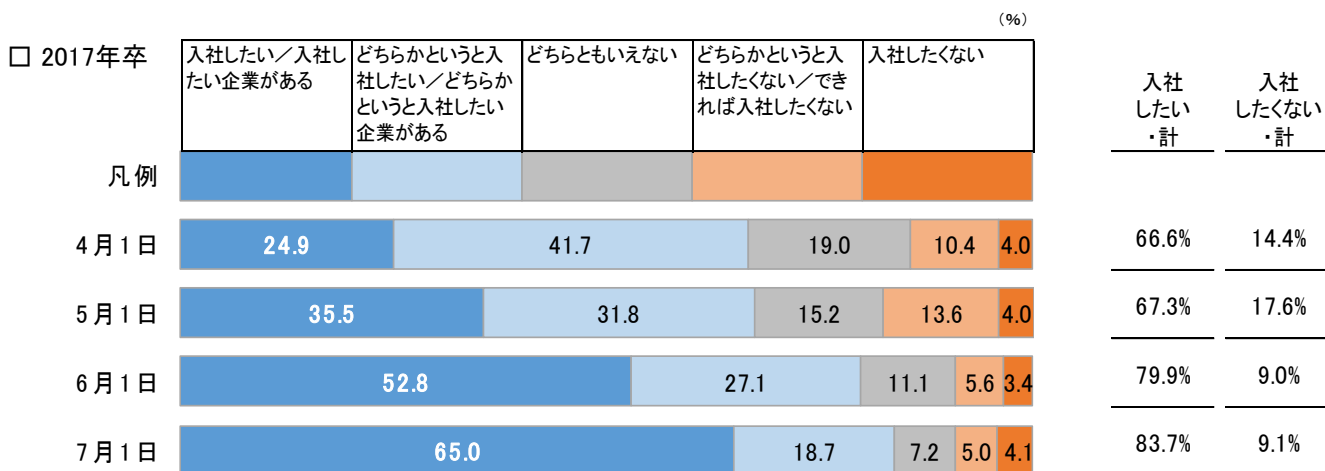
		3月1日	4月1日	5月1日	6月1日	6月15日	7月1日	8月1日	8月15日	9月1日	10月1日	12月1日	2月1日	3月卒業
全体	2017年卒	※1.05社	※1.51社	1.30社	1.61社	1.85社	1.92社							
	2016年卒	※1.18社	1.50社	1.83社	1.46社		1.54社	1.67社	2.02社	1.98社	2.03社	2.06社	2.06社	2.04社
	2015年卒	※1.16社	1.61社	1.73社	1.75社		1.80社	1.83社			1.87社	1.90社	1.87社	1.86社
	前回差		0.46	-0.21	0.31	0.24	0.07							
	前年同月差	-0.13	0.01	-0.53	0.15		0.38							

注)※が付いているものは、回答数が少ないため、参考として掲載

【6】内定先企業への入社意向

● 2017年卒学生の内定先企業への入社意向を尋ねた結果、「入社したい／入社したい企業がある」と答えた学生は、4月1日時点で24.9%、「どちらかというに入社したい／どちらかというに入社したい企業がある」を加えた「入社したい・計」は66.6%であった。その後入社意向を示す学生の割合は徐々に高まり、7月1日時点で「入社したい／入社したい企業がある」は65.0%、「入社したい・計」は83.7%であった。

■ 内定先企業への入社意向(就職志望者、1社以上内定保有者／単一回答)

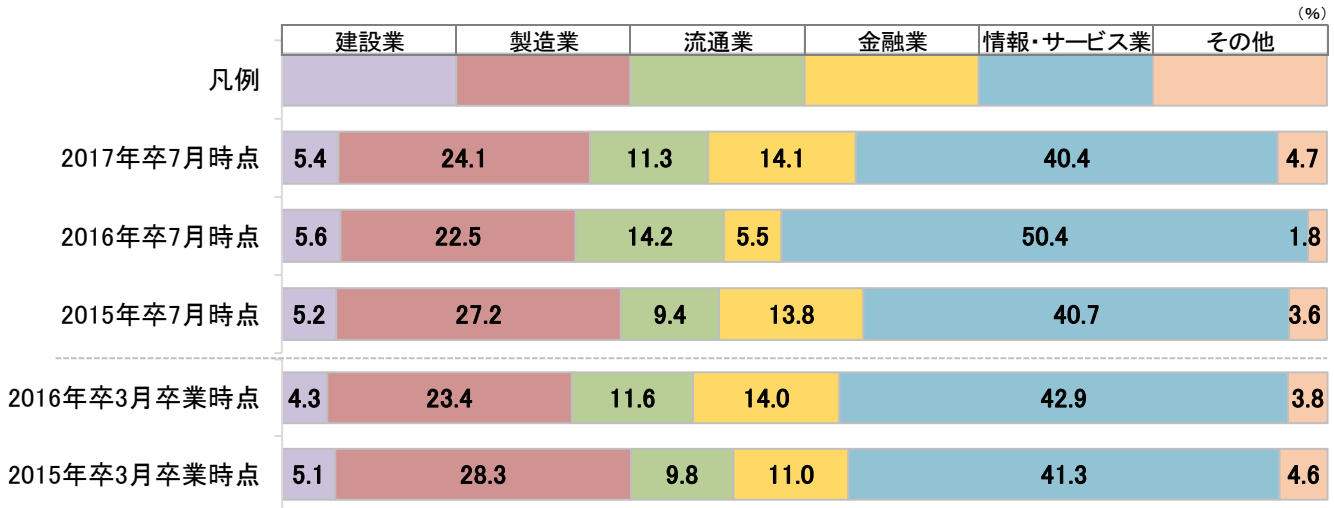




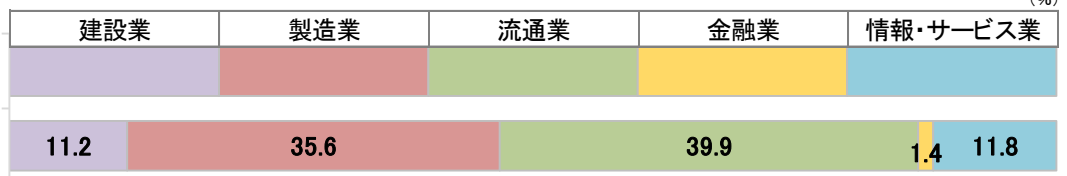
【7】7月1日時点での就職確定先業種、従業員規模

- 2017年卒学生の7月1日時点での就職確定先業種は、「情報・サービス業」が40.4%と最も多く、次いで「製造業」が24.1%であった。
- 2017年卒学生の7月1日時点での就職確定先従業員規模は、「1000～4999人」が27.9%で最も多く、次いで「300人未満」が26.1%であった。

■ 7月1日時点での就職確定先業種 (民間企業への就職先確定者/単一回答)

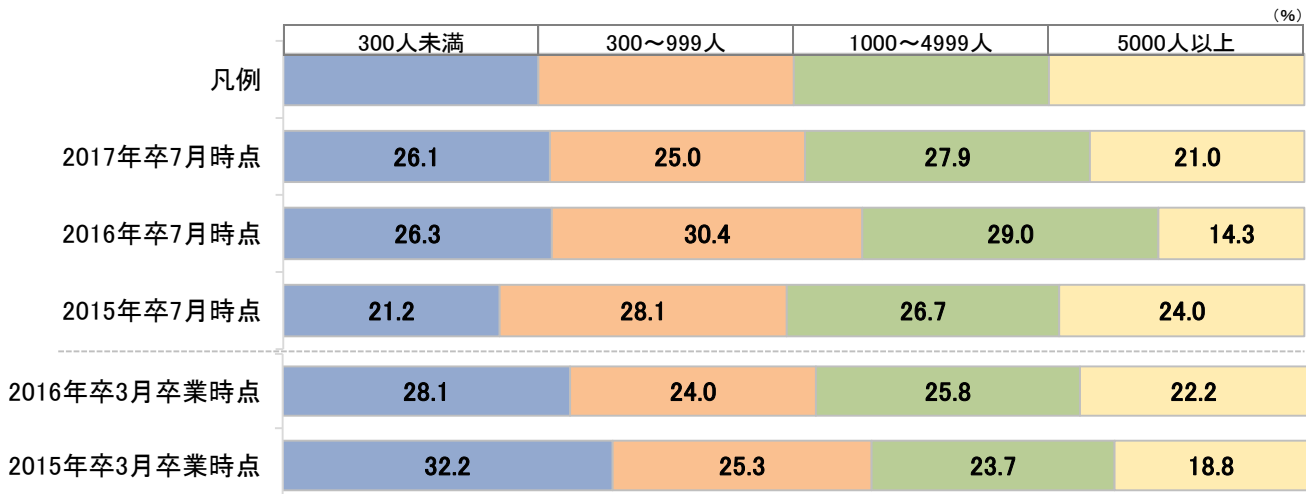


(参考)大卒求人総数における業種別構成比

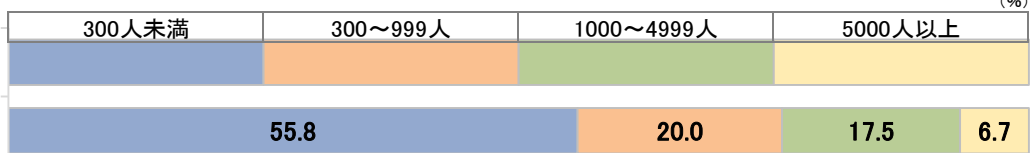


●リクルートワークス研究所『第33回 ワークス大卒求人倍率調査』をもとに作成。  
※民間企業の求人総数734,300件に占める、業種別の割合を表示。

■ 7月1日時点での就職確定先従業員規模 (民間企業への就職先確定者/単一回答)



(参考)大卒求人総数における従業員規模別構成比



●リクルートワークス研究所『第33回 ワークス大卒求人倍率調査』をもとに作成。  
※民間企業の求人総数734,300件に占める、従業員規模別の割合を表示。

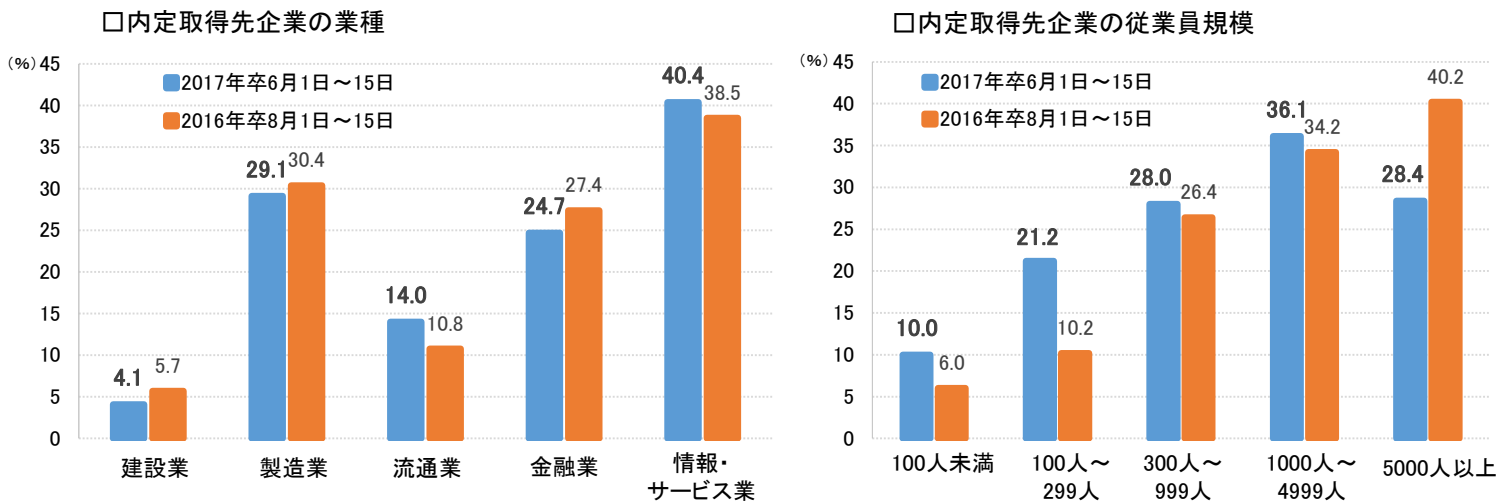
(参考) 選考開始月15日時点での内定状況、内定先企業の業種、従業員規模、入社意向

- 選考開始月15日時点での内定取得者のうち、選考開始月の1日～15日の間に内定を取得した割合は、2017年卒学生で54.7%、2016年卒学生で44.4%であった。同期間における内定取得社数は、2017年卒学生で1.42社、2016年卒学生で1.52社であった。
- 選考開始月1日～15日の間に大学生が取得した内定先企業の従業員規模は、2017年卒学生では「1000～4999人」が36.1%で最も多く、次いで「5000人以上」が28.4%であった。2016年卒学生では「5000人以上」が40.2%で最も多く、次いで「1000～4999人」が34.2%であった。
- 選考開始月1日～15日における内定取得先企業への入社意向を聞いたところ、2017年卒学生、2016年卒学生ともに「入社したい／入社したい企業がある」が最も多く、59.2% (2017年卒)、64.8% (2016年卒) であった。

■ 選考開始月1日～15日における内定取得有無、内定取得社数 (就職志望者・内定取得者/実数回答)

		2017年卒 6月1日～15日	2016年卒 8月1日～15日
内定取得割合		54.7%	44.4%
社数	1社	71.4%	69.7%
	2社	19.3%	19.9%
	3社以上	9.3%	10.4%
	平均	1.42社	1.52社

■ 選考開始月1日～15日に内定取得先企業の業種、従業員規模 (就職志望者・内定取得者/複数回答)



■ 選考開始月1日～15日における内定取得先企業への入社意向 (就職志望者・内定取得者/単一回答)

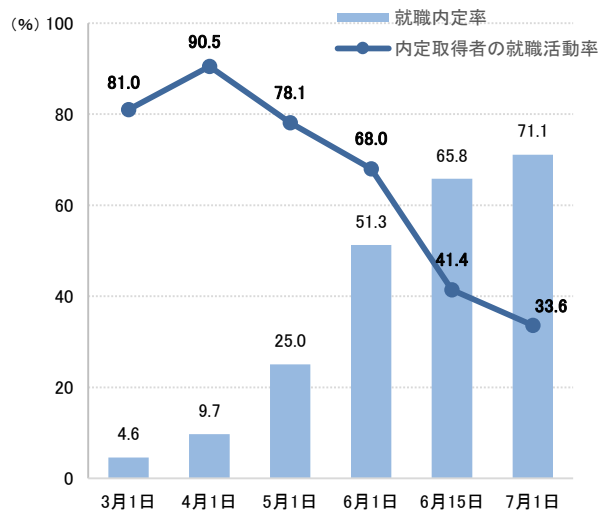
	入社意向 (%)					入社したい・計 (%)	入社したくない・計 (%)
	入社したい／入社したい企業がある	どちらかというに入社したい／どちらかというに入社したい企業がある	どちらともいえない	どちらかというに入社したくない／できれば入社したくない	入社したくない		
2017年卒 6月1日～15日	59.2	22.4	9.4	5.0	3.9	81.7%	8.9%
2016年卒 8月1日～15日	64.8	23.6	4.6	5.0	1.9	88.4%	6.9%

【8】「内定取得かつ就職活動実施者」の特徴

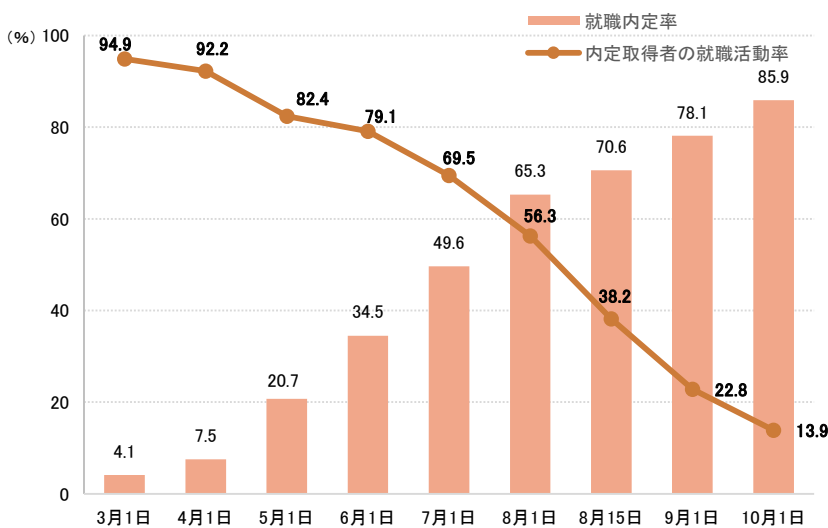
● 2017年卒学生の内定取得者の就職活動実施率をみると、7月1日時点(就職内定率:71.1%)で33.6%となっているが、2016年卒学生で就職内定率が同程度の水準であった8月15日時点(就職内定率:70.6%)では38.2%、2015年卒学生で就職内定率が同程度の水準であった7月1日時点(就職内定率:71.3%)では22.5%となっている。

■ 就職内定率(就職志望者)と就職活動実施率の推移(就職志望者・内定取得者)

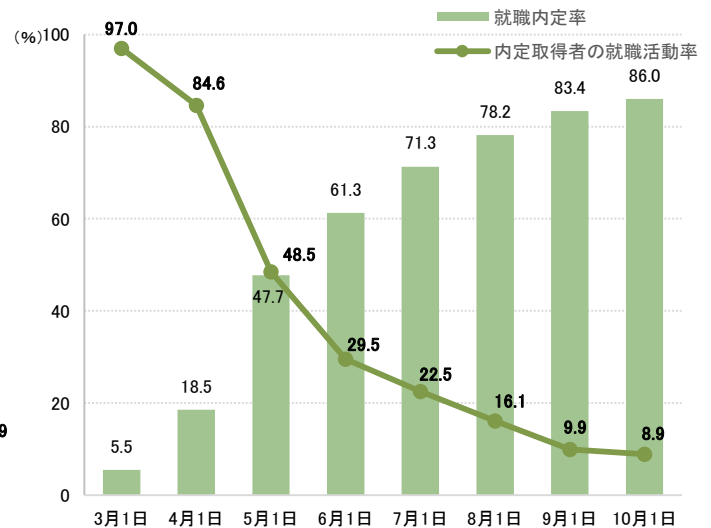
□ 2017年卒



□ 2016年卒



□ 2015年卒



■ 2017卒学生の3月1日時点の「就職活動実施者」の志望状況と、  
7月1日時点の「内定取得かつ就職活動実施者」の志望状況（単一回答）

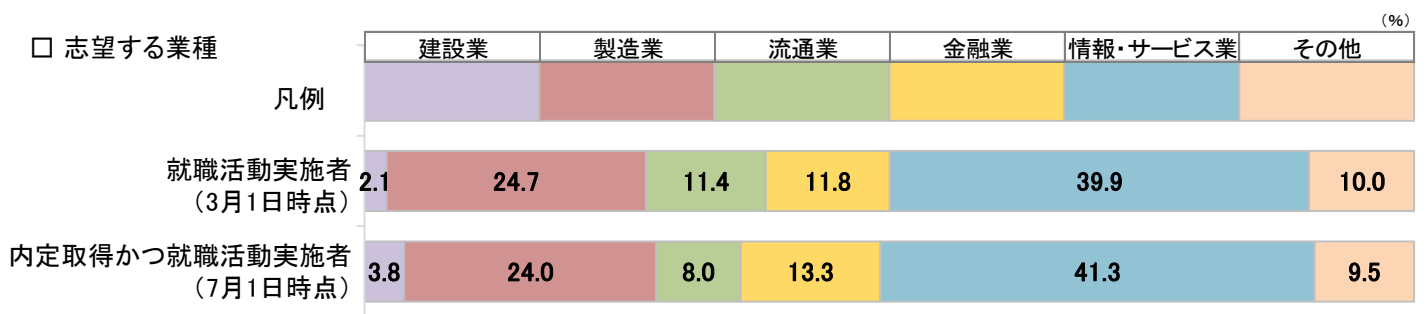
● 7月1日時点の「内定取得かつ就職活動実施者」の特徴を明らかにするため、  
3月1日時点の就職活動実施者の志望状況（≡学生全体の志望状況）と、  
7月1日時点の「内定取得かつ就職活動実施者」の志望状況を比較したのが下のグラフである。

《志望する業種の特徴》

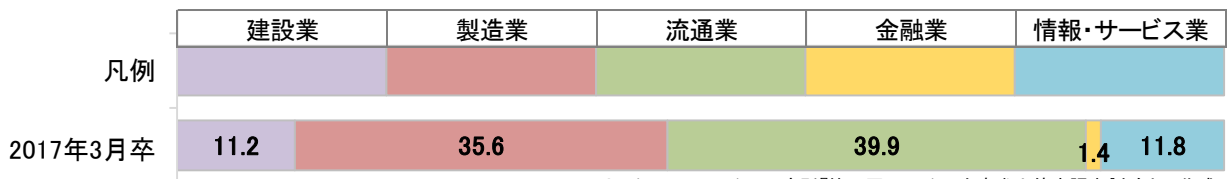
7月1日時点の「内定取得かつ就職活動実施者」の志望業種を、  
3月1日時点の就職活動実施者（≡学生全体の志望状況）と比較すると、「金融業」の割合が1.5ポイント低い。

《志望する従業員規模の特徴》

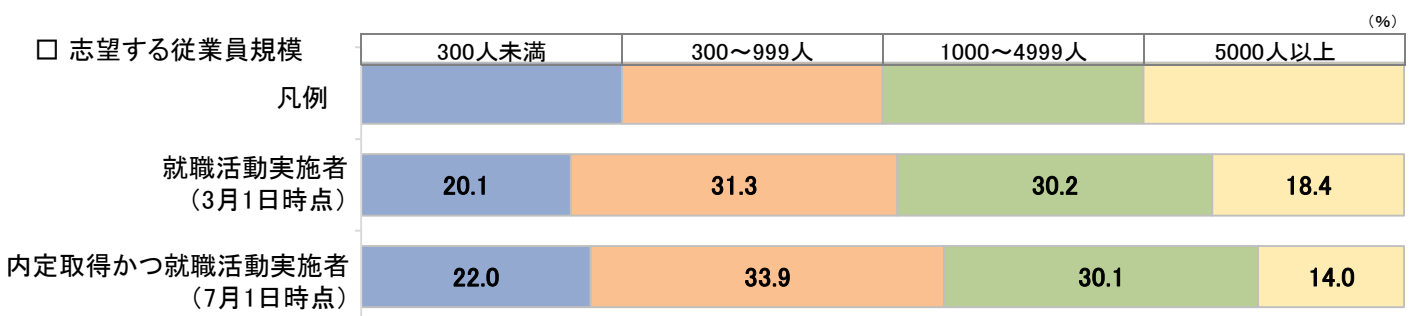
7月1日時点の「内定取得かつ就職活動実施者」の志望する従業員規模を、  
3月1日時点の就職活動実施者（≡学生全体の志望状況）と比較すると、「5000人以上」の割合が4.4ポイント低い。



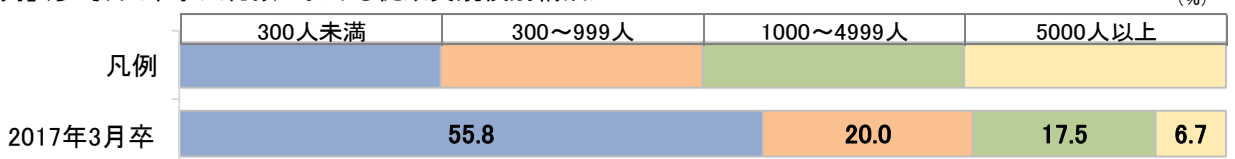
【再掲】(参考)大卒求人総数における業種別構成比



●リクルートワークス研究所『第33回 ワークス大卒求人倍率調査』をもとに作成。  
※民間企業の求人総数734,300件に占める、業種別の割合を表示。



【再掲】(参考)大卒求人総数における従業員規模別構成比



●リクルートワークス研究所『第33回 ワークス大卒求人倍率調査』をもとに作成。  
※民間企業の求人総数734,300件に占める、従業員規模別の割合を表示。

## II章 2月から6月の就職活動や志望の状況

## 【1】就職活動プロセス毎の実施状況

- 2017年卒学生の、就職活動プロセス毎に実施した学生の割合を月別に見ていく。  
(各活動プロセス毎の推移は次ページ参照)

2月:「大学で開催の合同説明会・セミナー」(45.5%)に参加した学生が最も多かった。

「エントリーシートなどの提出」や「適性検査や筆記試験の受検」は2割を超えていた。

3月:「企業へのエントリー」(76.4%)が最も多くなり、次いで「エントリーシートなどの提出」(67.1%)となった。

さらに「個別企業の説明会(対面)」(64.7%)を通じた企業との接触が増加している。

また、「大学で開催の合同説明会・セミナー」や「適性検査や筆記試験の受検」の実施者は5割を超えていた。

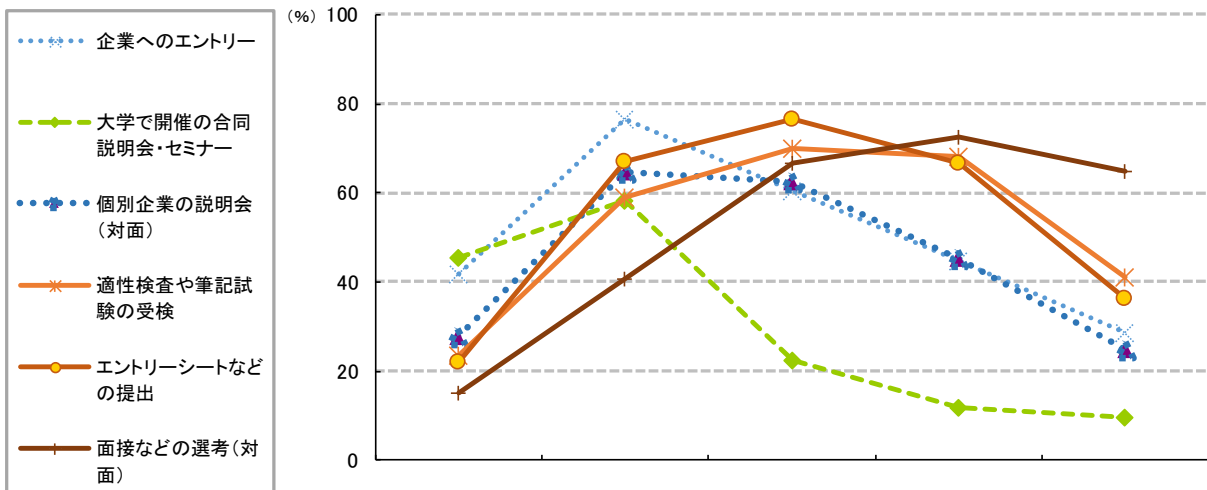
4月・5月:「エントリーシートなどの提出」「適性検査や筆記試験の受検」を約7割が実施している。

「面接などの選考(対面)」は4月中で66.8%、5月中には72.7%の学生が実施している。

他の活動プロセスの実施者割合は徐々に減っている。

6月:全ての活動プロセスの実施者割合が減少傾向にあるが、「面接などの選考(対面)」は64.9%が実施している。

## ■ 就職活動プロセス毎の実施状況(就職活動実施者/複数回答)



	2017年卒				
	2月	3月	4月	5月	6月
企業へのエントリー	42.0%	76.4%	60.4%	44.6%	28.5%
大学で開催の合同説明会・セミナー	45.5%	58.4%	22.4%	12.0%	9.7%
個別企業の説明会(対面)	27.8%	64.7%	62.3%	45.3%	24.9%
適性検査や筆記試験の受検	23.6%	58.9%	70.0%	68.1%	41.1%
エントリーシートなどの提出	22.0%	67.1%	76.6%	66.7%	36.3%
面接などの選考(対面)	15.0%	40.8%	66.8%	72.7%	64.9%

※ コメントおよびグラフ・表組上では、質問内容を省略している。詳細は下記の通り。

「企業へのエントリー」=「企業にエントリー(資料・情報の請求)をした」

「大学で開催の合同説明会・セミナー」=「大学で開催される合同説明会・セミナーに参加した」

「個別企業の説明会(対面)」=「個別企業の説明会・セミナーのうち、対面(社内、会場など)で開催されるものに参加した」

「適性検査や筆記試験の受検」=「適性検査や筆記試験を受けた」

「エントリーシートなどの提出」=「エントリーシートなどの書類を提出した」

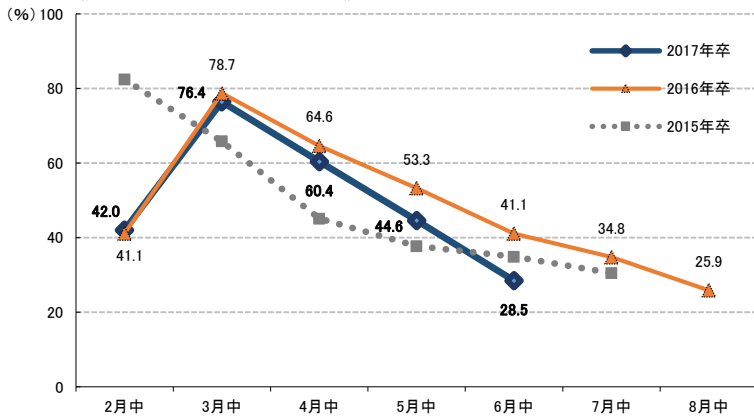
「面接などの選考(対面)」=「面接など対面での選考を受けた」



■ 各活動プロセス毎の実施者割合の推移

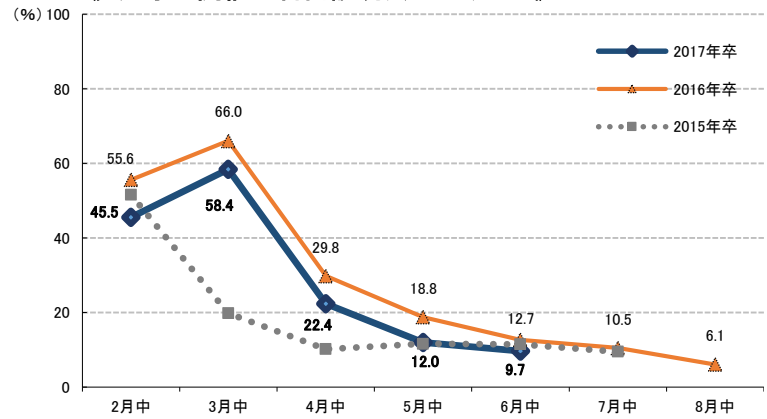
※2015年卒学生の8月中は未調査

《 企業へのエントリー 》



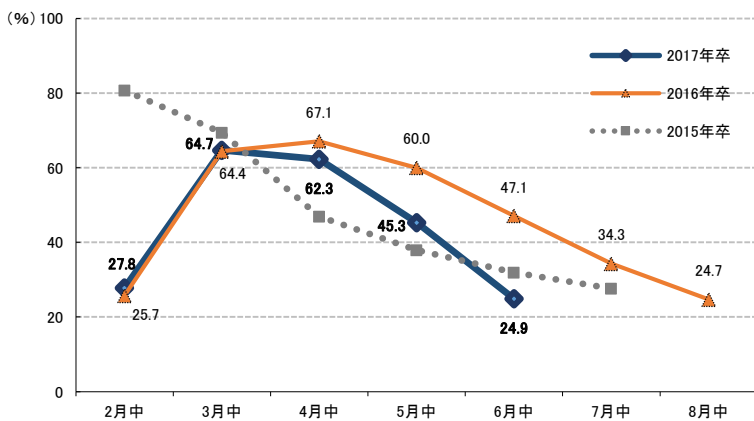
● 「企業にエントリー」をした学生の割合は3月中に76.4%で、その後徐々に減少。6月中は28.5%であった。

《 大学で開催の合同説明会・セミナー 》



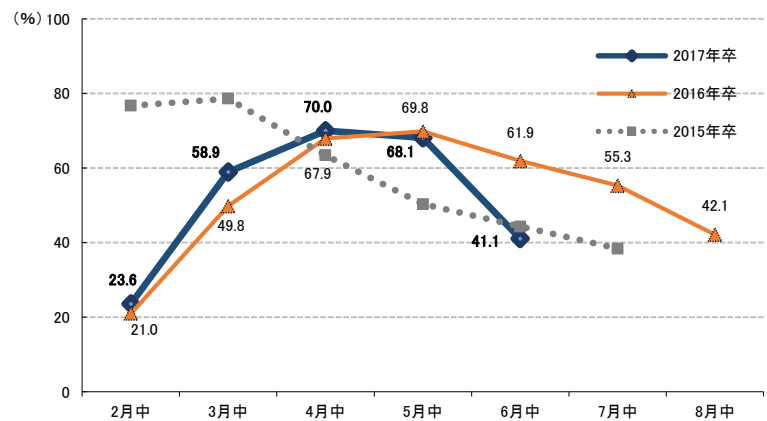
● 「大学で開催の合同説明会・セミナー」へ参加した学生の割合は、3月中は5割以上であった。その後減少し、4月中には2割程度、6月中には9.7%となった。

《 個別企業の説明会(対面) 》



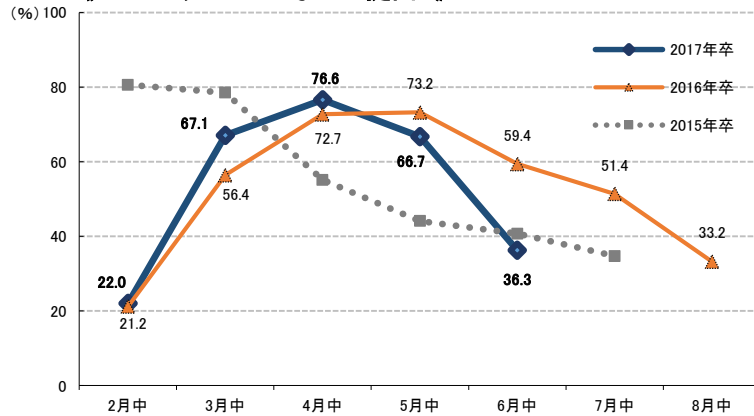
● 「個別企業の説明会(対面)」へ参加した学生は、3月中から4月中の間6割以上であった。

《 適性検査や筆記試験の受験 》



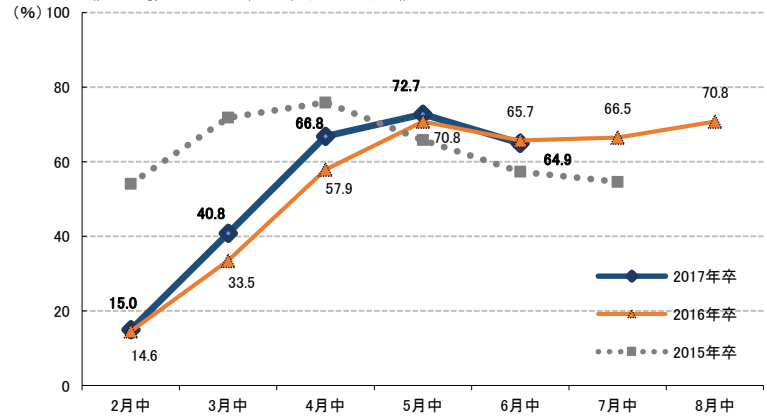
● 「適性検査や筆記試験の受験」は3月中で6割弱、その後の4月中、5月中は約7割であった。

《 エントリーシートなどの提出 》



● 「エントリーシートなどの提出」は3月中に6割を超え、4月中には7割を超えた。その後は減少し6月中には36.3%となった。

《 面接などの選考(対面) 》

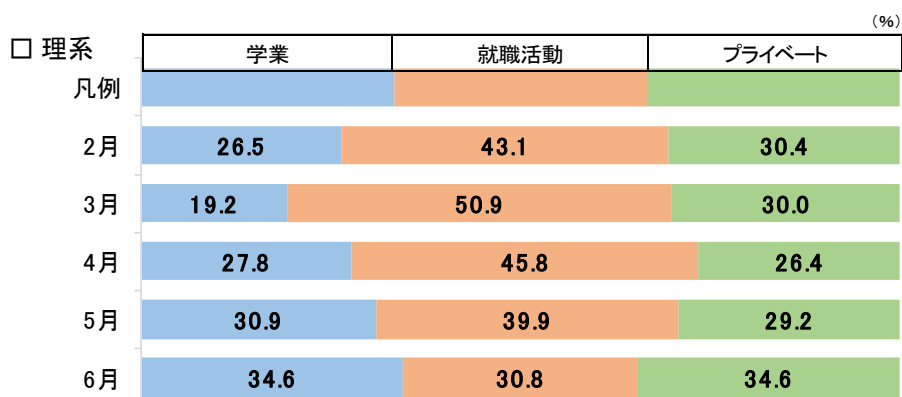
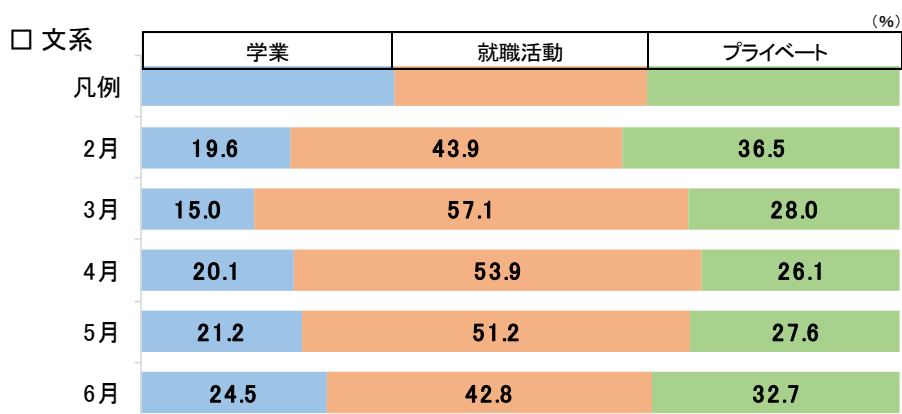
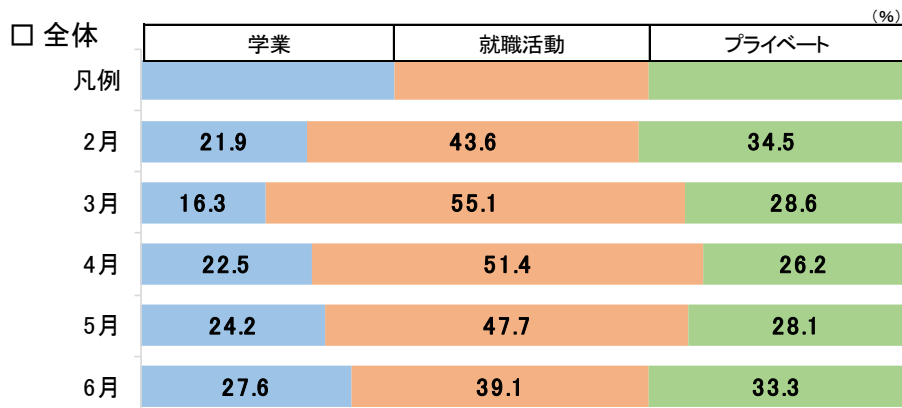


● 「面接などの選考(対面)」は、2月中以降に増加し4月中で66.8%となった。その後も6割~7割で推移した。

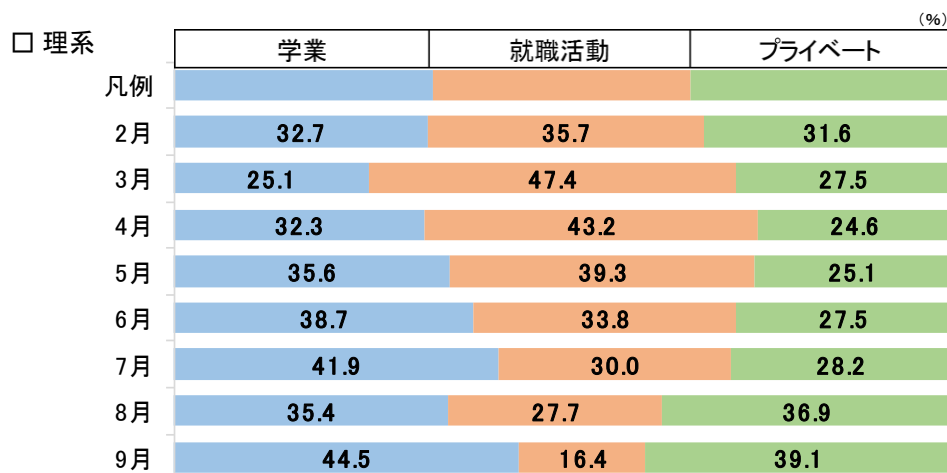
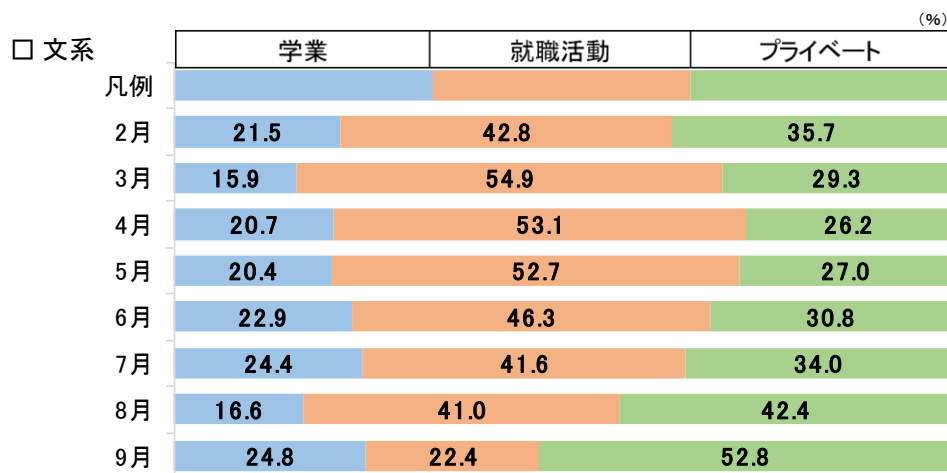
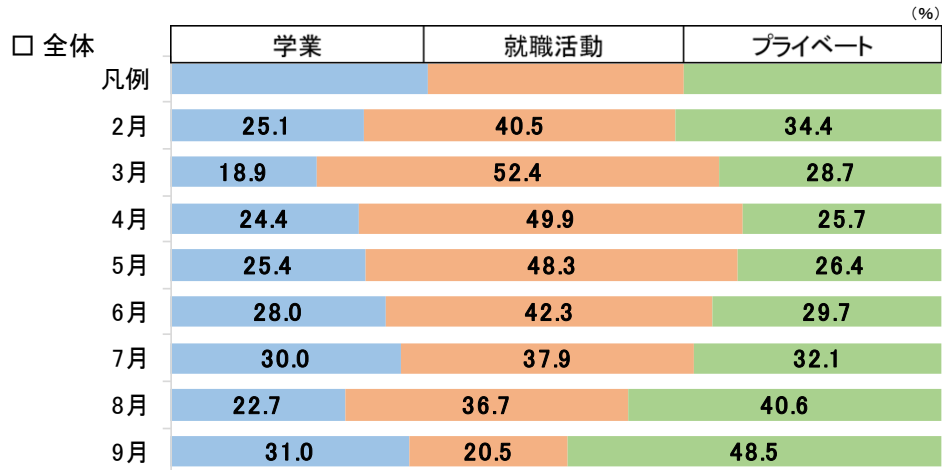
## 【2】「学業」「就職活動」「プライベート」に費やす時間の割合

- 就職を志望する学生の各月の時間を「100」とした場合の、「学業／就職活動／プライベート」の割合は、下図のようになった。
- 「就職活動」に費やす時間が占める割合が最も多いのは2017年卒学生、2016年卒学生ともに、広報活動開始月にあたる3月であった。
- 各月の「就職活動」に費やす時間が占める割合を2017年卒学生と2016年卒学生で比較すると、2017年卒学生の方が2月から4月までの時期に集中している傾向がみられる。

## ■ 2017年卒学生 「学業」「就職活動」「プライベート」に費やす時間の割合の推移(就職志望者／実数回答)



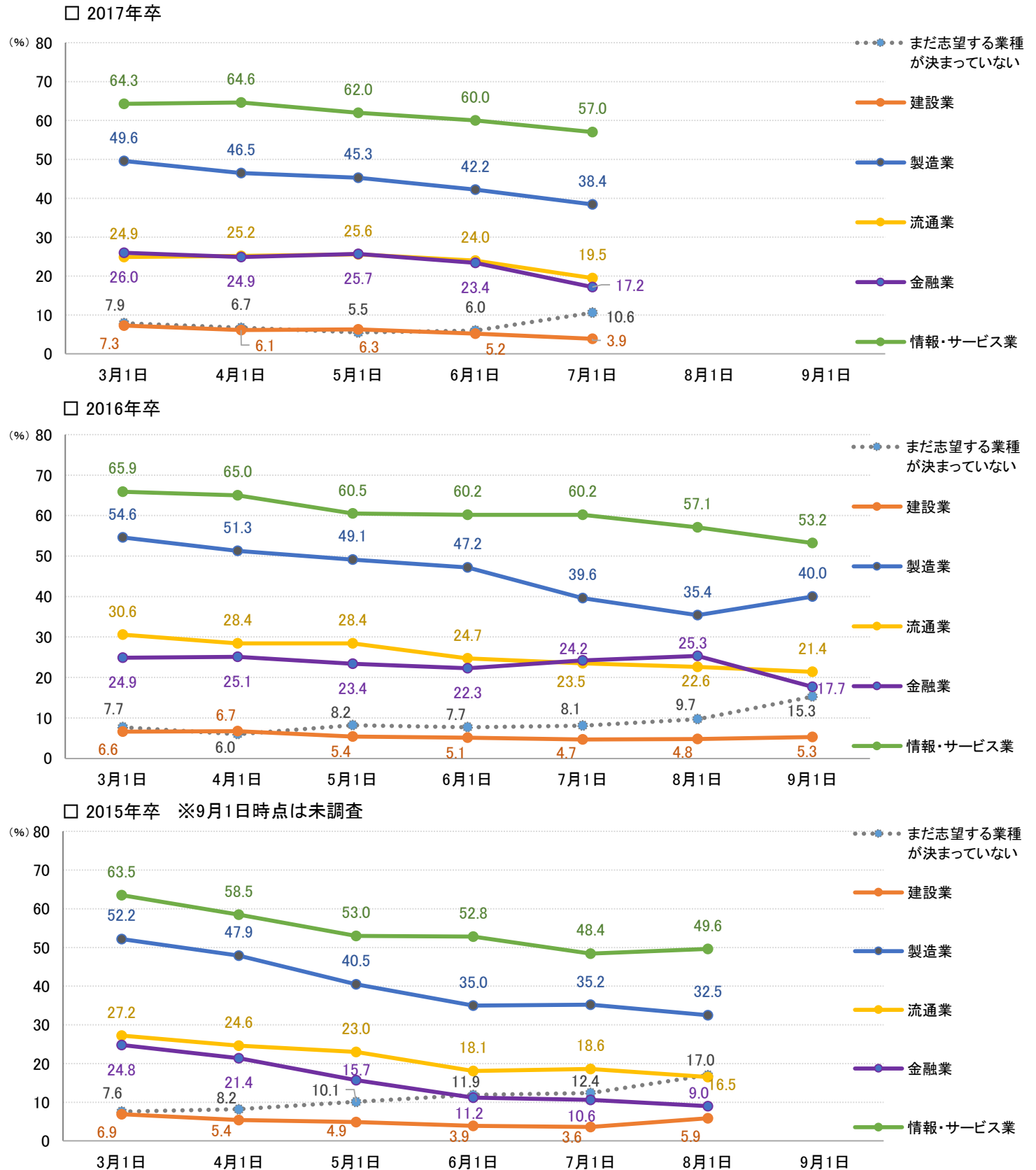
■ 2016年卒学生「学業」「就職活動」「プライベート」に費やす時間の割合の推移(就職志望者/実数回答)



【3】就職志望状況<志望業種>

- 2017年卒学生の志望業種(複数回答)を見ると、「情報・サービス業」が最も多く、次いで「製造業」であった。選考開始月翌月の7月1日時点では、各業種を志望する学生の割合は減少したが、「まだ志望する業種が決まっていない」学生の割合が高まった。
- どの年にも共通して、「金融業」を志望する割合は選考開始月の翌月に比較的大きく減少し、「まだ志望する業種が決まっていない」学生の割合は選考開始月の翌月以降、高まる傾向が見られた。

■ 就職志望先業種 (就職活動実施者/複数回答)

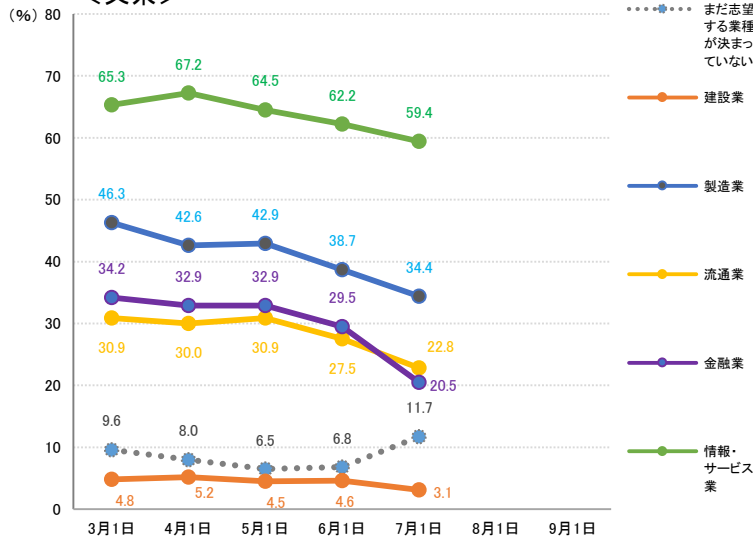


≪属性別データ≫

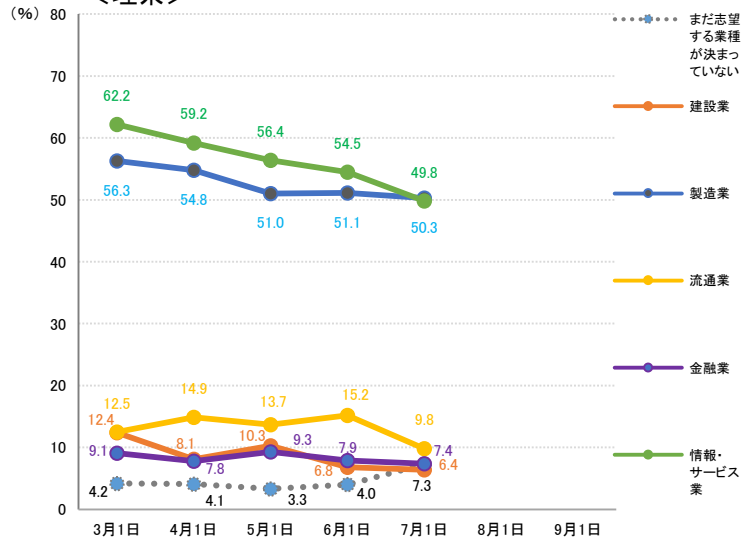
■ 就職志望先業種 (就職活動実施者/複数回答)

□ 2017年卒

<文系>

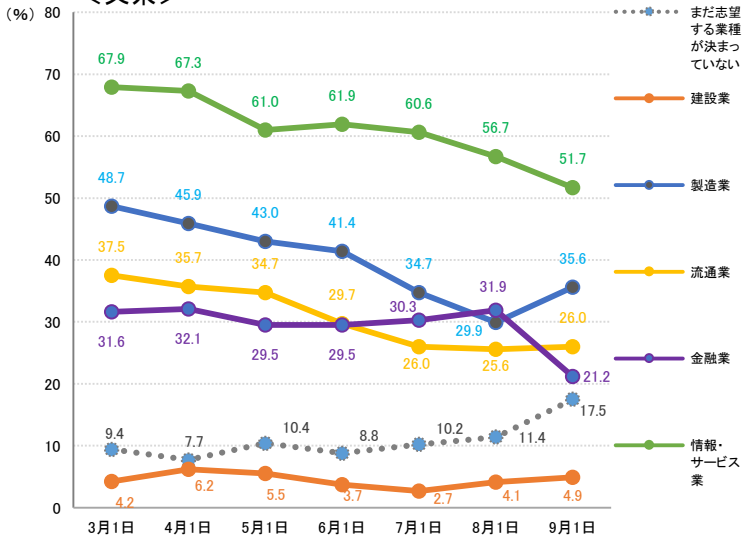


<理系>

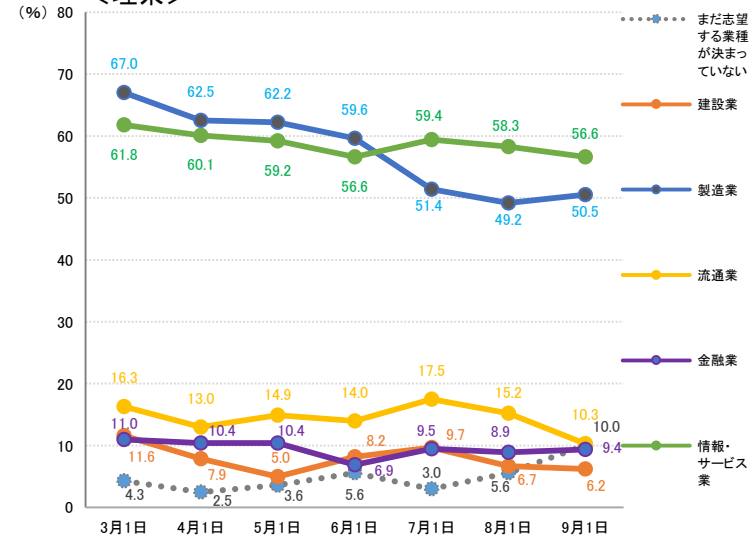


□ 2016年卒

<文系>



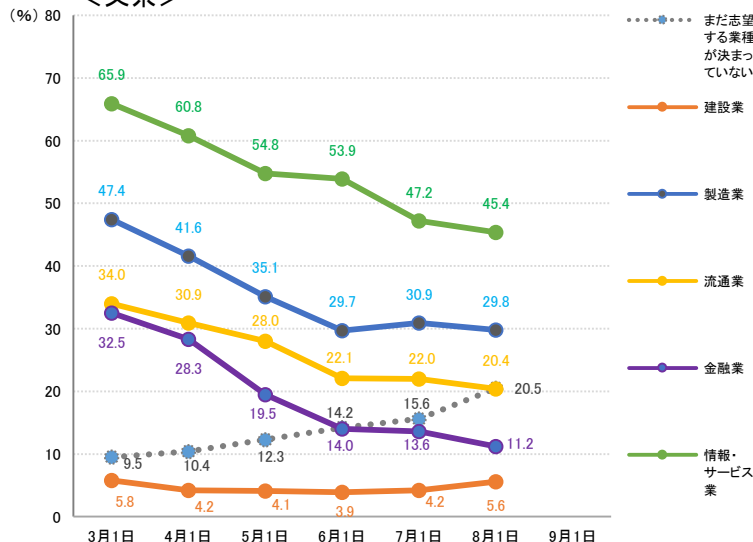
<理系>



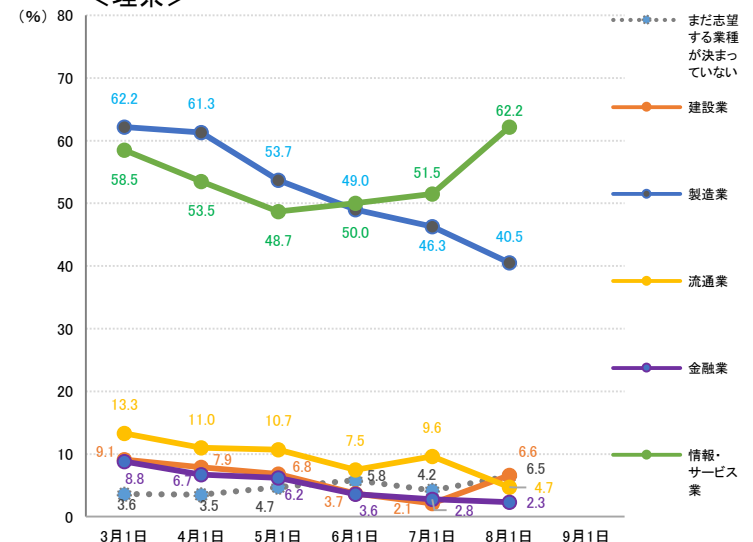
□ 2015年卒

※9月1日時点は未調査

<文系>



<理系>

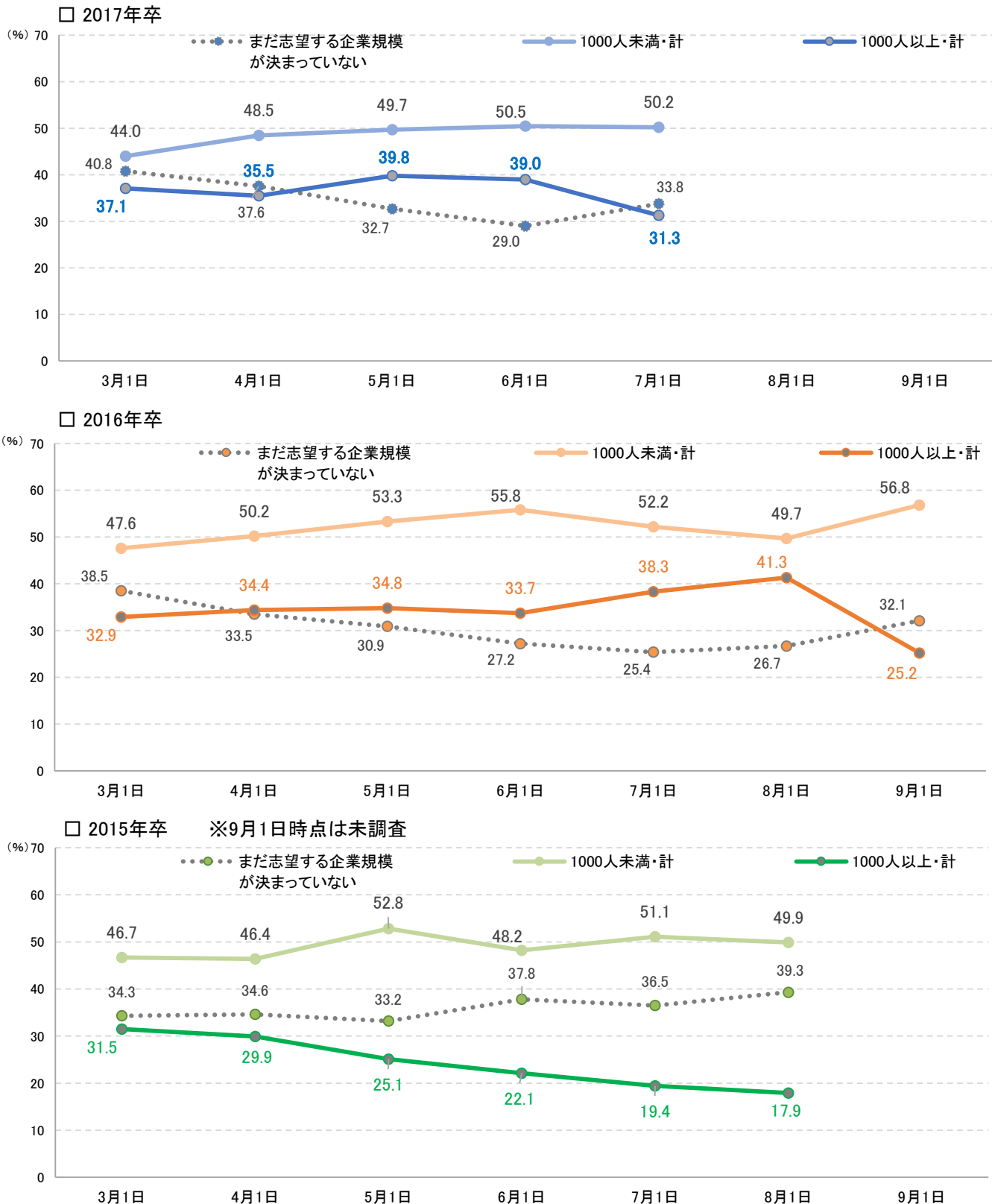




【4】就職志望状況<志望従業員規模>

- 志望従業員規模において、「1000人未満」と回答した学生の割合を見ると、2017年卒学生では3月1日時点から選考開始日である6月1日時点にかけて徐々に高まり、7月1日時点では横ばいとなっている。2016年卒学生では6月1日時点まで上昇したのち、選考開始日である8月1日時点にかけて低下したが、9月1日時点では上昇に転じている。2015年卒学生でも、選考開始月翌月の5月1日時点では上昇している。
- 「1000人以上」と回答した学生の割合では、どの年も、選考開始月翌月に低下している。

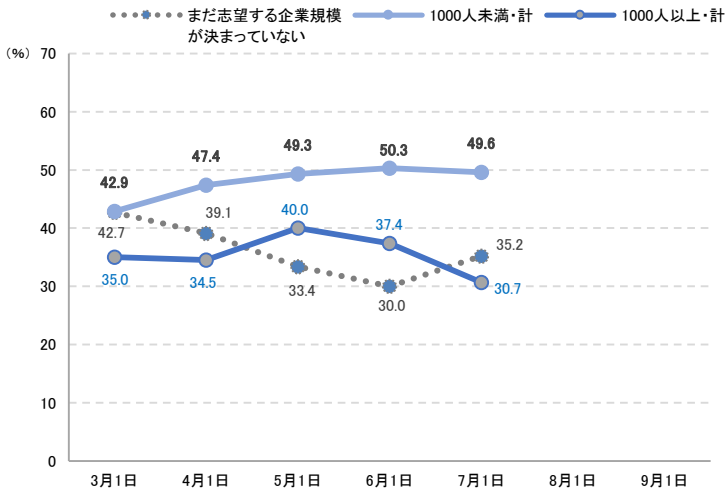
■ 就職志望先 従業員規模 (就職活動実施者/複数回答)



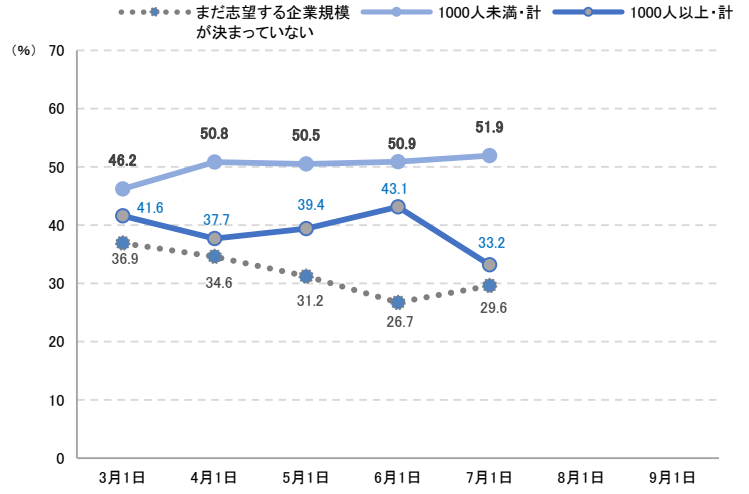
≪属性別データ≫

□ 2017年卒

＜文系＞

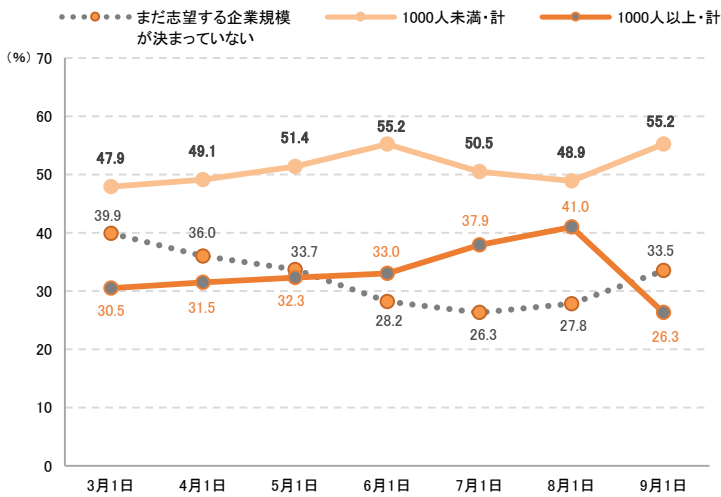


＜理系＞

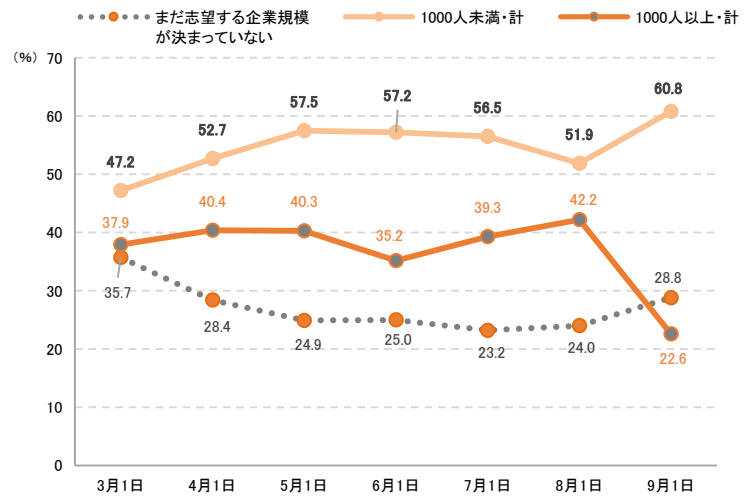


□ 2016年卒

＜文系＞



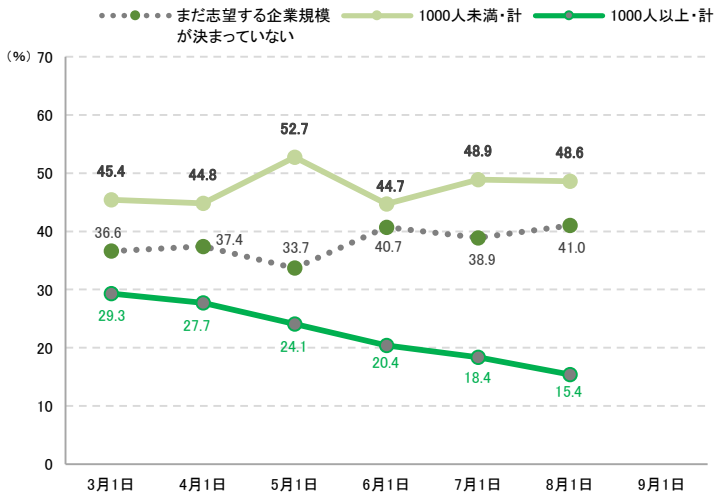
＜理系＞



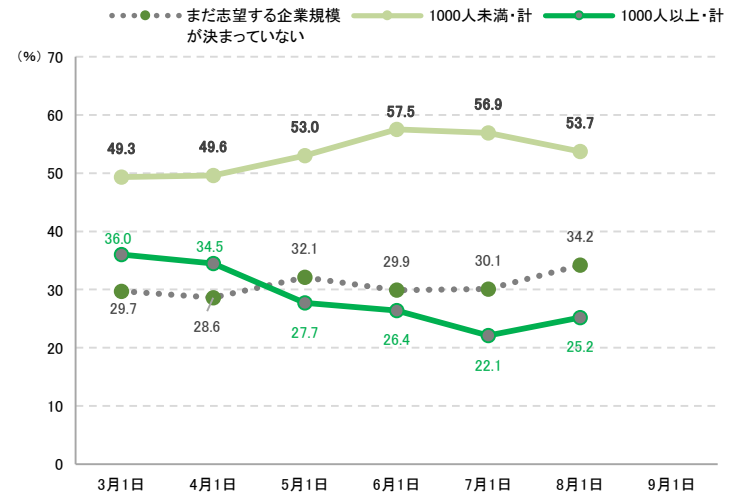
□ 2015年卒

※9月1日時点は未調査

＜文系＞



＜理系＞



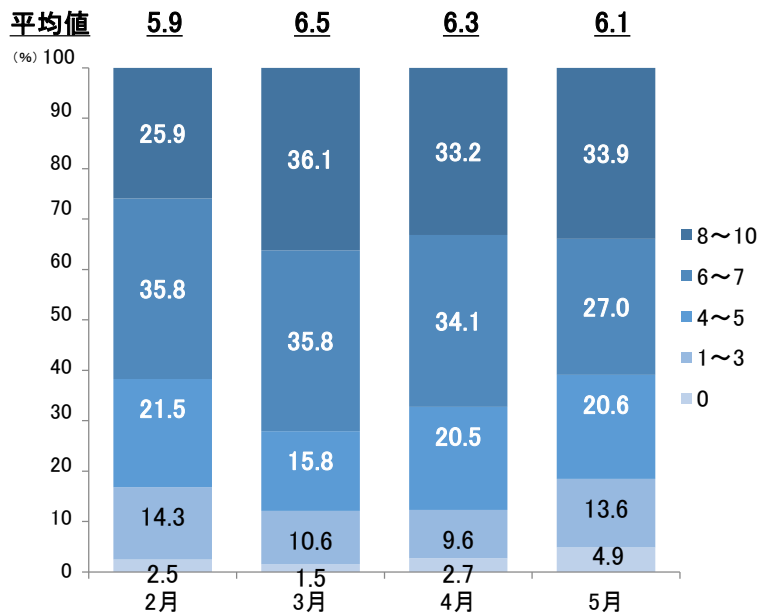
## Ⅲ章 2月から6月の学生の心情

### 【1】「就職活動」に対する気持ちの高まり度

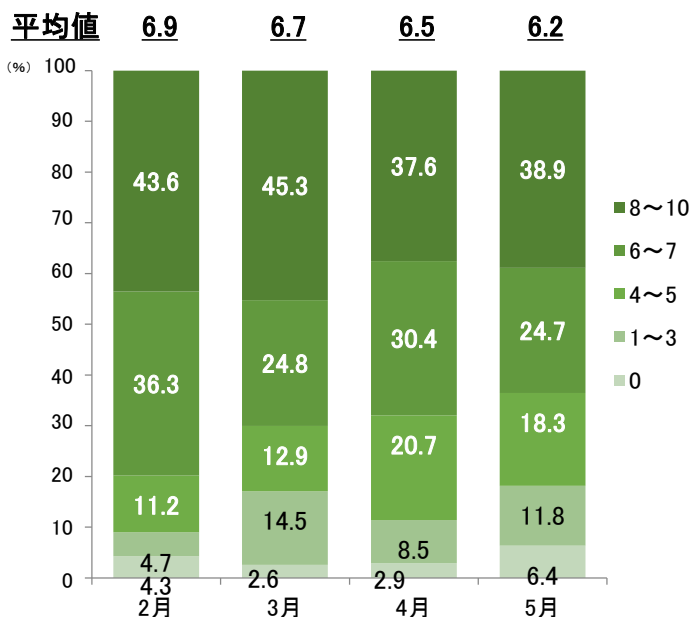
- 2017年卒学生の就職活動への気持ちの高まりを「0～10」の11段階で学生の尋ねた結果、その平均値が最も高かったのは3月(6.5)で、「6」以上と回答した学生の割合は71.9%であった。  
4月から5月で、高まり度の平均値は6.3から6.1に下がった。また5月に「6」以上と回答した学生の割合は60.9%であった。
- 内定取得の有無別に見ると、「内定取得者」は2月の値が高く、5月が低かった。  
気持ちの高まりの理由について、「内定取得の有無」「気持ちの高まり」別に学生のコメントを紹介する。

#### ■「就職活動」に対する気持ちの高まり度(5分類)の推移 (就職志望者/単一回答)

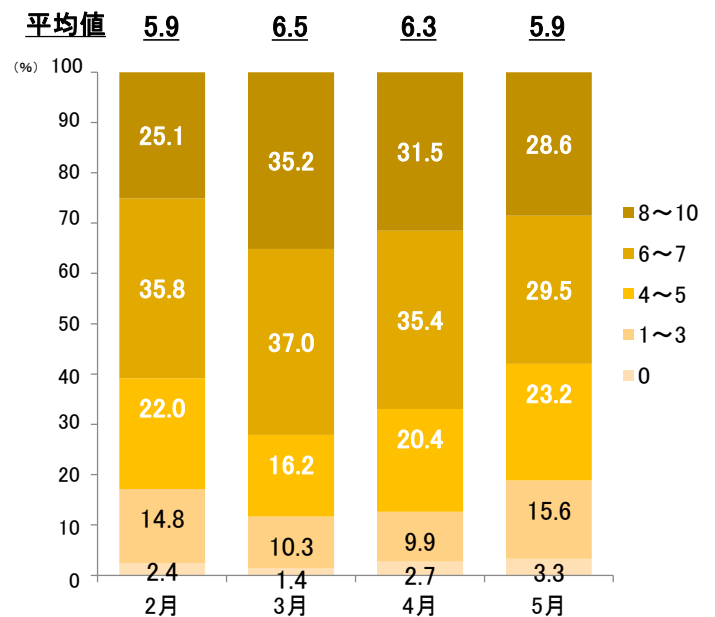
□ 全体



□ 内定取得者



□ 内定未取得者



## 内定取得で、気持ちの高まり度「8~10」の学生のコメント

- 第一志望の企業の選考が進んでいたから。(文系・3月調査・「9」)
- 綿密な計画を立て効率的な行動を実践する段階まで自ずとしていたため。(文系・3月調査・「10」)
- 選考が進む企業は増え、徐々にではあるが、就職活動に慣れを感じてきたからです。(文系・4月調査・「9」)
- 最初はいろいろやることもあり、ドタバタしていたが、落ち着いてくると面接とかでも自分らしさを出せて楽しくなってきたから。(文系・5月調査・「8」)
- 人生がかかっている、と思ったので、全力で就活しました。17卒は就活期間が短く、失敗したらやり直しがきかないと思い、焦りました。(文系・5月調査・「10」)
- 最終選考に複数進んだためモチベーションが高まった。(文系・6月調査・「10」)

## 内定取得で、気持ちの高まり度「0~3」の学生のコメント

- エントリーシートの締め切りに追われながらもセミナーに行く日々で寝不足だから。(文系・4月調査・「2」)
- 内々定をもらえたが第1志望群の企業はまだまだ。(理系・4月調査・「3」)
- 内定を頂いたため、就職活動に対するモチベーション維持が難しくなっているため。(文系・5月調査・「2」)
- 内々定を貰った段階で、次の企業の採用試験に向かうやる気が無くなった。(文系・6月調査・「0」)
- 調べる行為は行ったが、実際に選考を受けたりと行動を起こすことがほとんどなかったから。(文系・6月調査・「3」)

## 内定未取得で、気持ちの高まり度「8~10」の学生のコメント

- 土日に関係なく、毎日のように会社説明会へ足を運んでおり、就活生として精力的に動いているように感じるから。(文系・3月調査・「9」)
- 絶対に志望先に内定もらおうという強い意志がある。(理系・4月調査・「10」)
- 本格的に就職活動が始まり、周りが動き出したのを見て私も負けずに頑張ろうと思った。(文系・4月調査・「8」)
- 徐々に自分の適性ややりたい仕事が見えてやる気ができました。(文系・5月調査・「9」)
- 多くの企業から不合格の通知を受け、落ち込むと共に、頑張らなければという気持ちを持ったから。(文系・6月調査・「8」)
- 初めて面接を経験し、自分の準備不足を痛感した。なので今回の反省を次に生かそうとやる気が出た。(理系・6月調査・「8」)

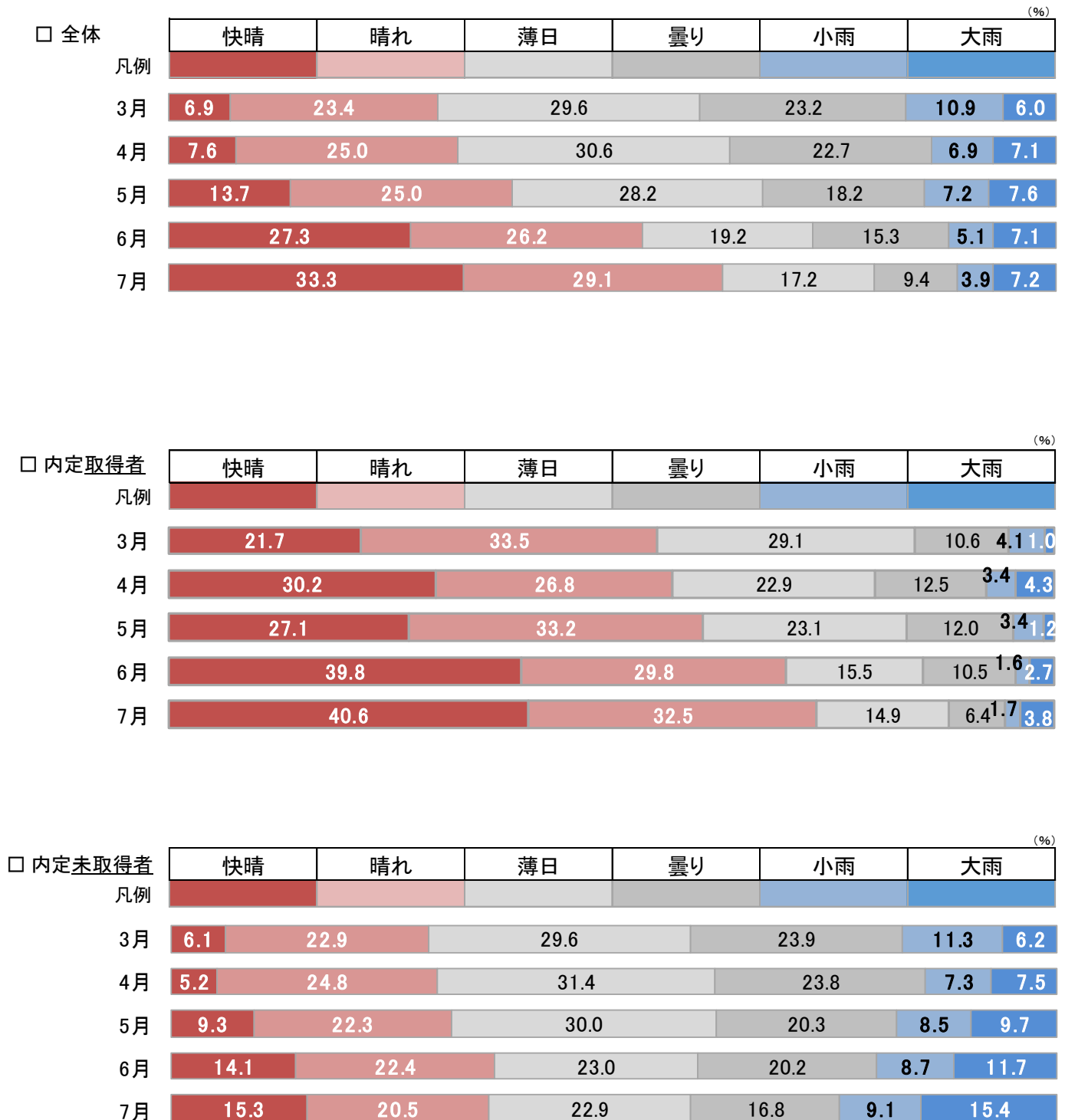
## 内定未取得で、気持ちの高まり度「0~3」の学生のコメント

- 就職活動はまだまだ先だと考えていました。(文系・3月調査・「0」)
- 情報解禁が来月ということもあり、まだ余裕があると考えていたから。(文系・3月調査・「3」)
- 就職できるというビジョンが見えないため、テンションは上がらない。(文系・4月調査・「2」)
- 大学が始まり、卒業研究も本格的にスタートし忙しくなったから。(理系・5月調査・「1」)
- 実習が終わったばかりでまだ気持ちが就職活動に向いていない。(文系・6月調査・「1」)
- 就職活動と部活とバイトと授業がすべて中途半端になってしまっているから。(文系・6月調査・「3」)

【2】「就職活動」に対する心情の天気模様(次月の見通し)

- 2017年卒学生の、「就職活動」に対する心情の天気模様(次月の見通し)を尋ねると、下記グラフのような結果となった。3月から7月に向けて「快晴」は6.9%から33.3%と増加している。「大雨」は全体には1割以下で、「薄日」(29.6%⇒17.2%)、「曇り」(23.2%⇒9.4%)は徐々に減少した。
- 内定取得の有無別に見ると、内定取得者の方が天気が良い傾向が見られるが、「内定取得者で見通しが悪い」「内定未取得で見通しが良い」学生も存在する。  
次ページに見通しの理由について、「内定取得の有無」「天気の良い・悪い」別に学生のコメントを紹介する。

■「就職活動」に対する心情の天気模様\_次月の見通し(就職志望者/単一回答)





## 内定取得で、「快晴」「晴れ」の学生のコメント

- もう自分の中での就職活動は終わっているので晴れている部分と、自身の力を磨いてこれから働いていくことに対して大変ワクワクしているので快晴です。(文系・3月調査・快晴)
- 今持っている選考ももう終わっているだろうから、もう就活はしてなくて、研究に専念しているだろう。(理系・4月調査・快晴)
- 大手企業の面接直前でもあるので、しっかり納得のいくよう備えられているはずなため。(文系・5月調査・快晴)
- 既に第一志望群の企業から内々定を貰っており、他の企業から内々定を貰えず、その企業に行くことになっても希望通りであるから。(文系・6月調査・快晴)
- 公務員試験や実習なども決まってるはずなので、落ち着いてできる。(文系・6月調査・晴れ)

## 内定取得で、「大雨」「小雨」の学生のコメント

- 自分にマッチした企業に会えるかどうか。(理系・4月調査・大雨)
- 公務員試験期間に突入するから。(文系・5月調査・大雨)
- 教員採用試験も受けるため、就職活動と教職の活動で両立が厳しくなるから。(理系・6月調査・大雨)
- 公務員試験を受けると親に言われているが、現在内定を得ている企業にも興味がある。しかし、自分の中でははっきりとどちらと決まっておらず、内定辞退には踏み切れない。(文系・7月調査・大雨)
- 周りが徐々に就職活動を終えているだろうから。(文系・7月調査・小雨)

## 内定未取得で、「快晴」「晴れ」の学生のコメント

- 現時点で就職活動がうまくいっているかは微妙ですが、やる気には満ちています。(理系・3月調査・快晴)
- だいたいどの業界のどの会社を受けるのか明確になってきてそれに向けて頑張るだけなのでモヤモヤ感がなくなった。(文系・3月調査・晴れ)
- まだ選考結果が来ていない企業も6月の時点で連絡がなければ縁がなかったとはっきりわかるから(悩まずに済む)。(文系・5月調査・晴れ)
- 6月中には就活を終了予定であり、7月には完全に解放されているはずだから。(文系・6月調査・快晴)
- 現在選考が進んでいる複数企業の最終選考が7月中旬までに終わる予定で、その結果が出れば就活を終えられるから。(文系・7月調査・快晴)

## 内定未取得で、「大雨」「小雨」の学生のコメント

- 就職できるかどうか、とても不安。出遅れたのをとても感じている。(文系・3月調査・大雨)
- 生活リズムを崩して説明会やセミナーを無断欠席してしまった。さらに電話対応が怖く謝罪の電話もかけられなかった。それゆえ、勤勉に働ける自信がない。(文系・3月調査・小雨)
- ESが通らない、SPIの勉強が進んでいないなど、今以上に不安だらけで絶望していると思うから。(文系・4月調査・大雨)
- とにかく焦っている気がする。勉強も飽きてきてここが我慢どころなき気がする。(文系・5月調査・大雨)
- 面接が重なり精神的にやられていそう。また、研究室の活動が忙しい時期でもあり、大変だろうから。(理系・5月調査・小雨)
- 卒論の中間発表があるため、就活に集中できない。(理系・6月調査・大雨)